

Pioneer

MDLP



MDレコーダブル/CD/チューナー・DSP
メインユニット

FH-P777MDR

取扱説明書

carrozzeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

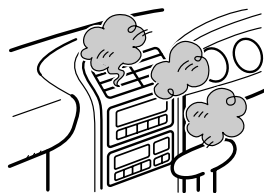
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 8 |
| 2 | セレクションキーの操作について | 10 |
| 3 | リモコンの準備 | 12 |
| 4 | バッテリー上がりを防ぐために | 12 |
| 5 | 「CD TEXT」について | 13 |
| 6 | 長時間録音されたMDの再生について | 13 |
| 7 | フロントパネルの角度を調節する | 14 |
| 8 | デモモードについて | 15 |
| 9 | 本機のリセットについて | 15 |

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ | 16 |
| | 電源を切る | |
| 2 | CDのふだんの操作 | 18 |
| | CDを再生する | |
| | 曲を選ぶ | |
| | 早送り/早戻しをする | |
| | 音量を調節する | |
| | CDを取り出す | |
| 3 | MDのふだんの操作 | 20 |
| | MDを再生する | |
| | 曲を選ぶ | |
| | 早送り/早戻しをする | |
| | 音量を調節する | |
| | MDを取り出す | |
| 4 | ラジオのふだんの操作 | 22 |
| | バンドを選ぶ | |
| | 放送局を選ぶ | |
| | 音量を調節する | |
| 5 | マルチCDのふだんの操作 | 24 |
| | CDを選ぶ | |
| | 曲を選ぶ | |
| | 早送り/早戻しをする | |
| | 音量を調節する | |

CD/MD

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

- | | | |
|----|-----------------|----|
| 1 | モードの切り換えかた | 26 |
| 2 | 同じ曲を繰り返し聞く | 27 |
| 3 | いつもと違う曲順で聞く | 27 |
| 4 | 聞きたい曲をさがす | 28 |
| 5 | 曲名を見て聞きたい曲をさがす | 29 |
| 6 | MD、CD再生を一時停止する | 29 |
| 7 | MDのタイトルを入力する | 30 |
| 8 | MDのタイトル表示を切り換える | 32 |
| 9 | CDのタイトルを入力する | 33 |
| 10 | CDのタイトル表示を切り換える | 33 |

ラジオ

ラジオを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 放送局を1局ずつ記憶させる | 34 |
| 2 | 記憶させた放送局を呼び出す | 35 |
| 3 | モードの切り換えかた | 35 |
| 4 | 複数の放送局を自動的に記憶させる | 36 |
| 5 | 放送局名を見て | |
| | 聞きたい放送局を呼び出す | 37 |
| 6 | 放送局名を変更する | 38 |

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|---------------------------|----|
| 1 | 50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について | 40 |
| 2 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 40 |
| 3 | モードの切り換えかた | 41 |
| 4 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 41 |
| 5 | いつもと違う曲順で聞く | 42 |
| 6 | 聞きたい曲やCDをさがす | 42 |
| 7 | 曲名を見て聞きたい曲をさがす | 43 |
| 8 | タイトルを見て聞きたいCDをさがす | 44 |
| 9 | CD再生を一時停止する | 44 |
| 10 | CDのタイトルを入力する | 45 |
| 11 | CDの音質を調整する | 47 |
| 12 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 48 |
| 13 | 記憶させた曲だけ再生する | 49 |
| 14 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 49 |
| 15 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 50 |
| 16 | タイトル表示を切り換える | 51 |

マルチMD

マルチMDでMDを聞く

(別売のマルチMDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|---|---------------|----|
| 1 | マルチMDのふだんの操作 | 52 |
| 2 | ファンクションモードの操作 | 53 |
| 3 | タイトル表示を切り換える | 53 |

テレビ

テレビを見る

(別売のテレビを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|---|----------------------------|----|
| 1 | テレビのふだんの操作 | 54 |
| 2 | ファンクションモードの操作 | 55 |
| 3 | チャンネル一覧から見たい
チャンネルを呼び出す | 55 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

マルチMDでMDを聞く

テレビを見る

録音する

音を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

録音

録音する

- | | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 録音する前に | 56 |
| 2 | 内蔵CDからCDを録音する | 58 |
| 3 | ラジオ/テレビを録音する | 60 |
| 4 | マルチCD/MDから | |
| | CD/MDを録音する | 62 |
| 5 | 曲を消去する | 64 |

音の調節

音を調節する

- | | | |
|----|--------------------|----|
| 1 | オーディオ調節のポイント | 66 |
| 2 | オーディオ調節モードの切り換えかた | 67 |
| 3 | 前後左右の音量バランスを調節する | 68 |
| 4 | 小音量時の音にメリハリをつける | 68 |
| 5 | イメージに合った演奏会場を再現する | 69 |
| 6 | イコライザーカーブを選ぶ | 70 |
| 7 | イコライザーカーブを大まかに調整する | 71 |
| 8 | イコライザーカーブを細かく調節する | 72 |
| 9 | 音場の中心で聞く | 73 |
| 10 | 車種に合ったタイムアライメントを選ぶ | 74 |
| 11 | タイムアライメントを調節する | 75 |
| 12 | サブウーファーを使う | 76 |
| 13 | 低い音を出力しないようにする | 77 |
| 14 | 各ソースの音量の違いをそろえる | 79 |
| 15 | オートイコライザーをON/OFFする | 79 |
| 16 | 音の歪みを補正する | 80 |
| 17 | オートイコライジングを行う前に | 82 |
| 18 | オートイコライジングを行う | 84 |

便利な機能

便利な機能と初期設定

- | | | |
|----|---------------------|----|
| 1 | よく使う機能を直接操作する | 86 |
| 2 | 交通情報を受信する | 87 |
| 3 | 瞬時に音量を小さくする | 87 |
| 4 | 時計・カレンダーを表示・調節する | 88 |
| 5 | カスタムメニューの切り換えかた | 90 |
| 6 | 表示画面を選ぶ | 91 |
| 7 | ディスプレイの明るさを調節する | 91 |
| 8 | 夜間のディスプレイの明るさを切り換える | 91 |
| 9 | 背景のパターンを選ぶ | 91 |
| 10 | エンタテインメントを表示させる | 92 |
| 11 | 初期設定モードの切り換えかた | 94 |
| 12 | リバースモードをON/OFFする | 95 |
| 13 | フィーチャーデモをON/OFFする | 95 |
| 14 | 外部機器の音声を聞く | 96 |
| 15 | 外部機器の名称を入力する | 97 |
| 16 | ミュート/アッテネートを切り換える | 97 |
| 17 | RCA外部出力から出力される信号を選ぶ | 98 |

C O N T E N T S

ここだけ読めば
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他

その他 (付録)

1	CDの正しい使いかた	100
2	MDの正しい使いかた	102
3	保証書とアフターサービス	103
4	故障かな?と思ったら	104
5	こんなメッセージが表示されたら	106
6	おもな仕様	112

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

マルチMDでMDを聞く

テレビを見る

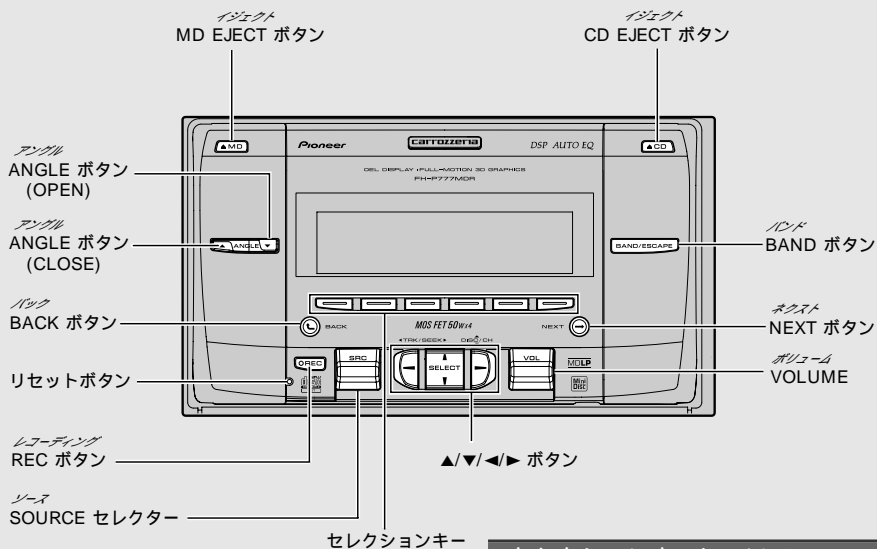
録音する

音を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

本体 (クローズ時)



セレクションキーについて

「セレクションキー」は、ディスプレイの表示に合わせて機能が変化するボタンです。「セレクションキー」は、選んでいるモードによって、操作できる機能が異なります。

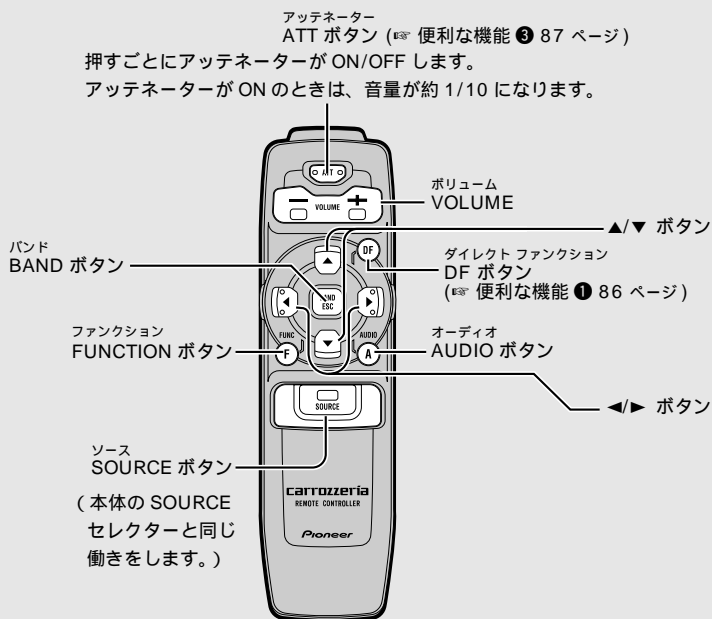
本体 (オープン時)

ANGLE (OPEN) ボタンを2秒以上押し、フロントパネルが完全に開きます。(☞はじめに ⑦ 14 ページ)



リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ働きをします。



FUNCTION ボタンについて

FUNCTION ボタンを押すと、ファンクションモードを切り換えることができます。

- (E38 CD/MD ① 26 ページ)
- (E38 ラジオ ② 35 ページ)
- (E38 マルチ CD ③ 41 ページ)

AUDIO ボタンについて

AUDIO ボタンを押すと、オーディオ調節モードを切り換えることができます。(E38 音の調節 ② 67 ページ)

DF ボタンについて

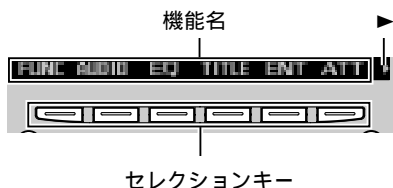
DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵 CD・内蔵 MD・マルチ CD でポーズ、マルチ MD でリピート、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作することができます。(E38 便利な機能 ① 86 ページ)

セレクションキーの操作について

この説明書では、ファンクションモードやオーディオ調節モードの操作は、セレクションキーを基本として説明しています。

セレクションキーについて

「セレクションキー」は、ディスプレイの表示に合わせて機能が変わるボタンです。「セレクションキー」は、選んでいるモードによって、操作できる機能が異なります。また、「▶」表示は、セレクションキーに現在表示されている機能とは別の機能があることをあらわしています。「▶」が表示されているときにNEXTボタンを押すと、セレクションキーの機能を切り換えることができます。



この説明書では、「セレクションキー」での操作は表示される機能名をボタン名として説明しています。(例えば、「FUNC」と表示されている「セレクションキー」は、FUNCボタンと言います。)

基本画面について

CDを聞いているときなどの基本画面には、FORM 1とFORM 2の2つの表示方法があります。(▶ 便利な機能⑥ 91ページ)

FORM 1



FORM 2



この説明書では、FORM 1を例に説明していますので、FORM 2を選んでいる場合、「セレクションキー」の表示が一部異なることがあります。

BAND ボタンとBACK ボタンの違いについて

BAND ボタンは、選んでいるモードに関係なく一度で基本画面に戻ることができます。(ラジオやテレビでは、モードを選んでいるときにBANDボタンを押すと、バンド切り換えになります。)

BACK ボタンは、選んでいるモードを解除し、一つ前のモード(画面)に戻ることができます。

ガイド表示について

この説明書では、各モードの操作についてセレクションキーを基本として説明していますが、機能のON/OFFなど▲/▼/◀/▶ボタンでも操作できるものがあります。▲/▼/◀/▶ボタンでも操作することができるときは、ガイド表示が出ます。



表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ボタンで操作 できます。
	▲または▼ボタンで機能の ON/OFFができます。
	◀または▶ボタンで項目を選 ぶことができます。

セレクションキーの操作 (例：内蔵CDのランダムプレイ)

1 “FUNC” を表示させる

NEXT ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FUNC AUDIO EQ TITLE ENT ATT

TI PAUSE CLK MENU

FUNC AUDIO EQ TITLE ENT ATT 戻る

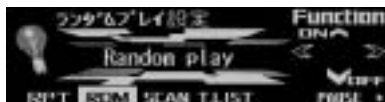
2 ファンクションモードにする

FUNC ボタンを押す
ファンクションモードに切り換わり、セレクションキーの表示も次のように切り換わります。

RPT RDM SCAN TLIST PAUSE

3 ランダムプレイ設定モードにする

RDM ボタンを押す
ランダムプレイ設定モードに切り換わります。



4 ランダムプレイをONにする

RDM ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



ランダム再生がONになると、ランプが点灯します。

5 ファンクションモードを解除する

BAND ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。

メモ

セレクションキーは、選んだソースやモードによって、切り換わる機能や表示の数が異なります。セレクションキーの表示が出ていないボタンには機能がありません。この場合、そのボタンでは操作することはできません。ランダムプレイ設定モード中では、▲/▼ボタンでもランダムプレイをON/OFFすることができます。

はじめに

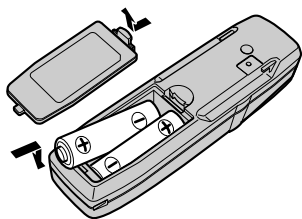
3

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

裏フタを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

メモ

誤ってリモコンのBANDボタンを押しながらFUNCTIONボタンを押してしまうと、ATTボタン、DFボタン、VOLUMEが動かなくなります。この場合、リモコンのBANDボタンを押しながらAUDIOボタンを押すと、元に戻ります。

はじめに

4

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意
本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

はじめに

5

「CD TEXT」 について

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

はじめに

6

長時間録音されたMD の再生について

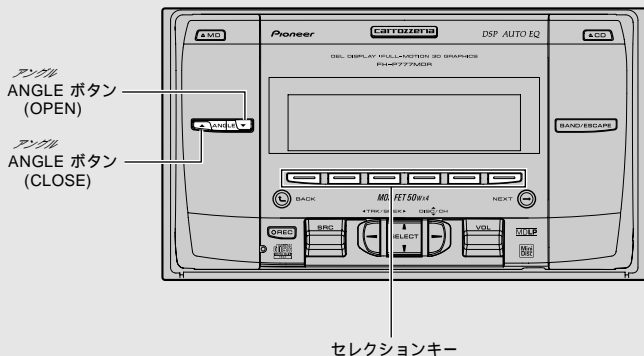
本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。本機とMDLPに対応していない製品(MD-P100IIなど)を組み合わせた場合、その製品では長時間録音されているMDを再生することができません。

MDLPについて

MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

ご注意

本機は、MDLPの再生にのみ対応しています。長時間録音することはできません。



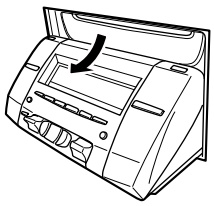
はじめに 7 フロントパネルの角度を調節する

角度調節

フロントパネルの角度を調節して、ディスプレイを見やすくしたり、操作をしやすくすることができます。

1 フロントパネルの角度を調節する

- ANGLE (OPEN/CLOSE) ボタンを押す
- OPEN : ボタンを押すごとにフロントパネルが傾きます。2秒以上押すと、全開します。
 - CLOSE : ボタンを押すごとにフロントパネルが立ち上がります。2秒以上押すと、完全に閉まります。



ご注意
 角度の調節は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。CDやMDを挿入口に差したままにしないでください。フロントパネルを閉められなくなります。

メモ

フロントパネルの角度は、13段階に調節することができます。
 ANGLE ボタンを押してCD EJECT 位置に調節すると、CD挿入口にライトが付きまます。レンタル録音 (録音 58 ページ) するときには、この位置に調節しておくとう便利です。
 車のACC (アクセサリー) 電源をOFFにすると、約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度ONにすると、元の位置に戻ります。(ただし、安全のために、全開位置には戻りません。)
 リモコンの取付位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うとリモコンでの操作が効かなくなることがあります。このようなときは、リモコンを本機に近づけて操作してください。

⚠ 注意

⚠ 注意
 フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
 フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

はじめに

8

デモモードについて

本機には、リバースモードとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON(またはACC)のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、リバースモードがONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示して紹介する機能です。

フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときに6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが始まります。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

メモ

赤リード線(アクセサリ電源)は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

9

本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態(ご購入直後の状態)に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

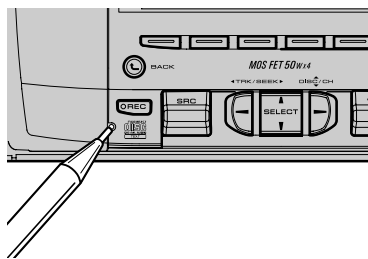
リセットボタンを押すと、本機の記憶(時計やラジオのプリセットなど)が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

ご注意

本機をリセットする前に、フロントパネルを完全に閉めておいてください。(CDやMDを挿入口に差したままにしないでください。)

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



メモ

フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

はじめに

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE セレクターを上下に押す
SOURCE セレクターを上下に押すごとに、
次のように切り換わります。

内蔵 CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

内蔵 MD

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

External1 (エクスターナルユニット)
(別売) ¹

External2 (エクスターナルユニット)
(別売) ¹

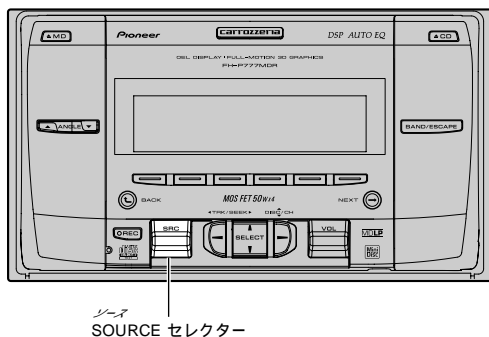
AUX (外部機器) (別売) ²

電源 OFF

リモコンで操作する場合、SOURCE ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵 CD → テレビ → ラジオ (FM/AM)
→ 内蔵 MD → マルチ MD → マルチ
CD → エクスターナルユニット 1 → エ
クスターナルユニット 2 → AUX (外部
機器) → 内蔵 CD に戻る

リモコンの SOURCE ボタンを 1 秒以上
押すと、本機の電源が切れます。



メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMDがセットされていないときは、その
ソースには切り換わりません。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側の
オートアンテナのコントロール端子を接続してい
る場合、ソースをラジオにすると車に装備され
ているオートアンテナがのびます。

- External (エクスターナルユニット) とは、本機
がソースとして対応していないパイオニア製品
(将来発売される製品など) の基本的な機能をコ
ントロールできるように用意している特別なソ
ースです。本機では、2台の External (エク
スターナルユニット) をコントロールすることが
できますが、External1、External2のどちらに
切り換えても「External」が表示されます。2
台の External (エクスターナルユニット) を接
続した場合、本機によって、External1、
External2が自動的に設定されます。

²AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能 96
ページ) をONにしないと、AUXには切り換わり
ません。

テレビ、マルチMDを接続
したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書
をご覧ください。

組み合わせ例

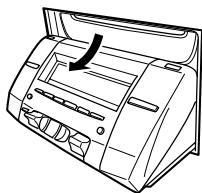
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7700W」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外
の製品を例にして、操作説明が行われて
いる場合があります。その製品と対応し
ているボタンで操作を行ってください。

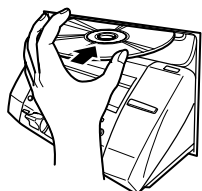
ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

CD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



自動的にフロントパネルが閉まり、CDの再生が始まります。

ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

「CD TEXT」を再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」を再生している場合は、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

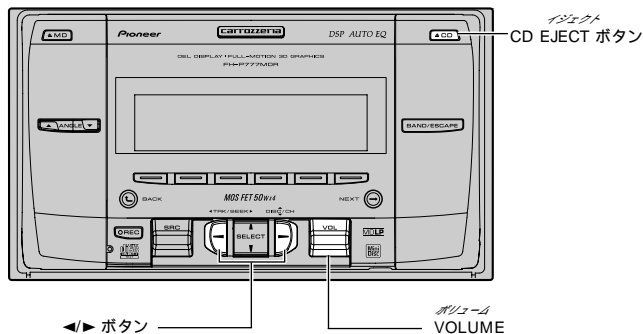
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME を上または下に押す

上に押す：大きくするとき
下に押す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

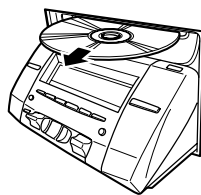
メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやMDなど)に切り換えることもできます。(P. 16ページ)
タイトル(P. 33ページ)が入力されていないCDを再生すると、“No title”が表示されます。
CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

4 CDを取り出してCD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、CDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

もう一度CD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

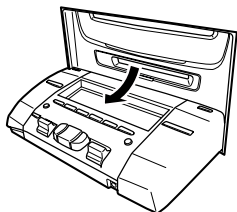
ここだけで MD のふだんの操作

MD を再生する 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵の MD プレーヤーで MD を聞くことができます。

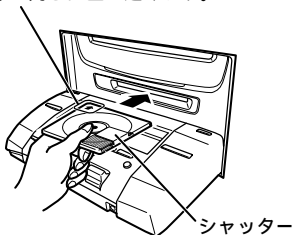
1 MD を再生する

MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



ラベル面を上にして、MD 挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



確認

MD のシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にフロントパネルが閉まり、MD の再生が始まります。

MD をセットしたときや、他のソースから内蔵 MD に切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。



本機では、内蔵 CD、ラジオ、マルチ CD などから MD に録音することができます。録音のしかたについては (録音 ① ~ ⑤ 56 ~ 65 ページ)

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

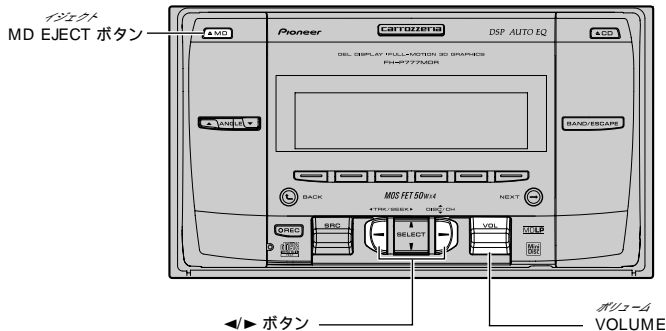
曲を選んだときに、曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。



3 音量を調節する

VOLUME を上または下に押す

上に押す：大きくするとき

下に押す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。

約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(P.16)

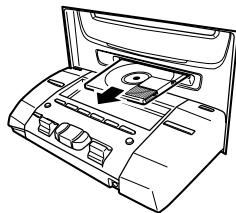
タイトル(☞ CD/MD) 30ページ)が入力されていないMDを再生すると、“No title”が表示されます。

MD挿入口には、MD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、MDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

もう一度MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを閉める

フロントパネルが開まります。

ここだけで **4** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

SOURCE セレクターを上下に押して
選ぶ

ラジオを受信します。



2 バンドを
選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが
切り換わります。

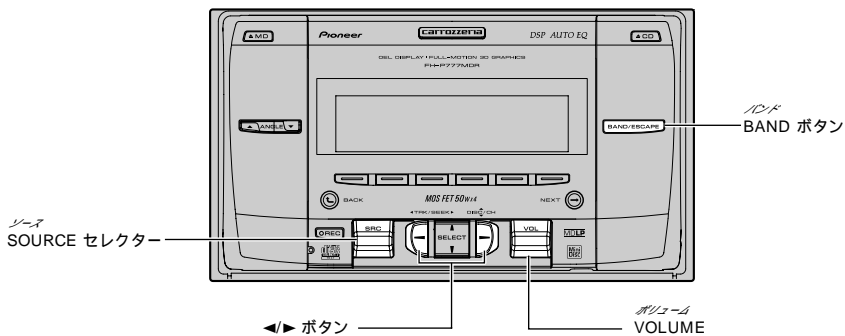
FM-1 FM-2 AM-1 AM-2



バンドごとに放送局を6局ずつ記憶でき
ます。(ラジオ①④ 34、36 ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うこ
とでより多くの放送局を記憶できます。
例えば、バンド1にはふだんよく聞く放
送局を記憶させておきます。旅行先な
ど、どんな放送局があるのか知らない地
域に行ったときに、バンド2に切り換え
てBSMを使うと、バンド1に記憶させ
た放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



放送局名 受信状況 受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

本機はあらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(ラジオ 38ページ)

4 音量を 調節する

VOLUMEを上または下に押す

- 上に押す: 大きくするとき
- 下に押す: 小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (ここだけで 16ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCEセレクターを上下に押し
て選ぶ

マルチCDの再生が始まります。



「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



CD番号

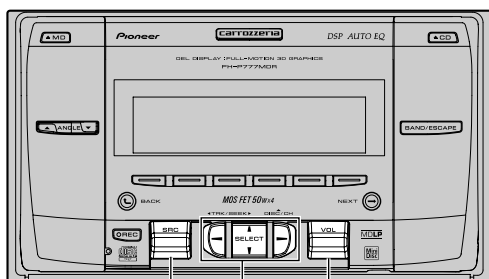
メモ

タイトル (E37 マルチCD ⑩ 45 ページ) が入力されていないCDを再生すると、「No title」が表示されます。

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「Ready」が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「No MAG」が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



ソース SOURCE セレクター ▲/▼/▶ ボタン VOLUME

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P670」など)に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

4 音量を 調節する

VOLUMEを上または下に押す

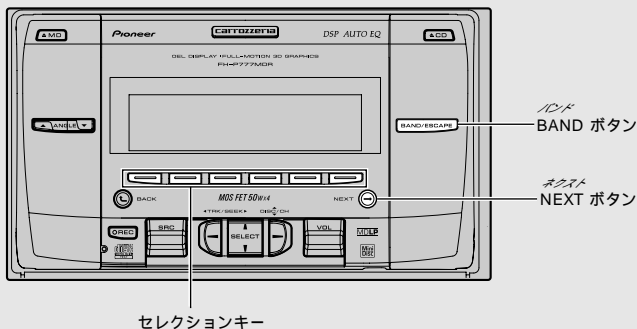
- 上に押す : 大きくするとき
- 下に押す : 小さくするとき



音量は0 ~ 40の範囲で調節できます。
約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000)



CD/MD

1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1

ファンクションモードにする

FUNC ボタンを押す

2

セレクションキーを切り換える

NEXT ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ソースが内蔵CDのとき

RPT RDM SCAN T.LIST PAUSE

TTLin

RPT RDM SCAN T.LIST PAUSE に戻る

ソースが内蔵MDのとき

RPT RDM SCAN T.LIST PAUSE

DISCin TRKin

RPT RDM SCAN T.LIST PAUSE に戻る

3

操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す
押したボタンのモードに切り換わります。
(各モードの操作は、それぞれのモードの説明を参照してください。)

4

ファンクションモードを解除する

BAND ボタンを押す

リモコンの場合

FUNCTION ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ソースが内蔵CDのとき

RPT → RDM → SCAN → T.LIST → PAUSE → TTLin → RPTに戻る

ソースが内蔵MDのとき

RPT → RDM → SCAN → T.LIST → PAUSE → DISCin → TRKin → RPTに戻る

メモ

ファンクションモードは、約30秒間、何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、タイトル入力モード(TTLin, DISCin, TRKin)を選んでいる場合、自動では解除されません。

ソースが内蔵CDのとき、トラックリストモード(T.LIST)はCD TEXT再生中のみ表示され、操作することができます。

CD/MD

2

同じ曲を繰り返し 聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートプレイ設定モード にする

FUNC ボタンを押す

リピートプレイ設定モード以外を選んでいる場合は、RPT ボタンを押してください。

2 トラックリピート再生を ON にする

RPT ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



今聞いている曲を繰り返し再生します。

CD/MD

3

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲を内蔵CD/MDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

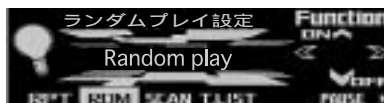
1 ランダムプレイ設定モード にする

FUNC ボタン、RDM ボタンの順に押す

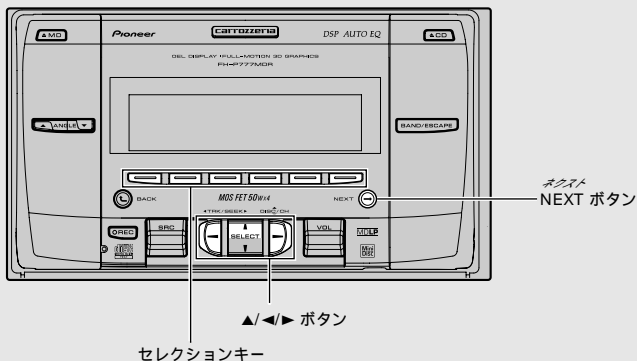
2 ランダム再生をONにする

RDM ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



次の曲から、ランダムに選曲します。



CD/MD
4

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

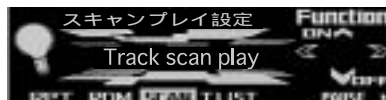
曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンプレイ設定モードにする

FUNC ボタン、SCAN ボタンの順に押す

2 スキャン再生を始める

SCAN ボタンを押す



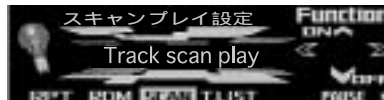
曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンプレイ設定モードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンプレイ設定モードのときにSCAN ボタンを押す



メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

曲名を見て聞きたい曲をさがす

トラックリスト

曲名の一覧(トラックリスト)を見ながら、聞きたい曲を選ぶことができます。

チェック 内蔵MDのとき、または内蔵CDで「CD TEXT」を再生しているときの機能です。

1 トラックリストモードにする

FUNC ボタン、T.LIST ボタンの順に押す

2 聞きたい曲名を表示する

NEXT ボタンを押す

ボタンを押すごとに6曲ずつ切り換わります。



いま聞いている曲の番号の下に、“_”が表示されます。

3 聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲と同じ番号のボタンを押す
選んだ曲が再生されます。

メモ

◀/▶ ボタンで聞きたい曲を選び、▲ ボタンで選んだ曲を再生することもできます。
MD に曲名が記憶されていないときは、“No T.Title”が表示されます。
「CD TEXT」に曲名が収録されていないときは、“No T.Title”が表示されます。

MD、CD 再生を一時停止する

ポーズ

MD や CD の再生を一時停止することができます。

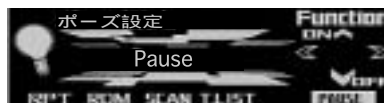
1 ポーズ設定モードにする

FUNC ボタン、PAUSE ボタンの順に押す

2 MD や CD の再生を一時停止する

PAUSE ボタンを押す

ボタンを押すごとに ON/OFF します。

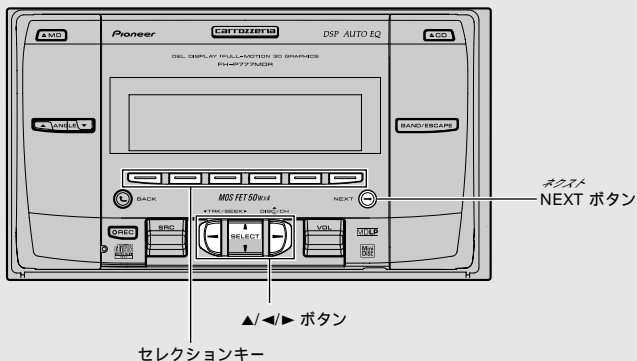


メモ

次の PAUSE ボタンでも、ポーズの ON/OFF をすることができます。



リモコンの DF ボタンでも、ポーズの ON/OFF をすることができます。(☞ 便利な機能① 86 ページ)



CD/MD
7

MDのタイトルを入力する

タイトル入力

MDのタイトルを表示 (E3 CD/MD ④ 32 ページ) させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

チェック 内蔵MDの機能です。

MDのタイトル入力について

タイトル入力は、MDのディスクタイトルおよびトラックタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

MDにトラックタイトルをつけるとトラックリスト (E3 CD/MD ⑤ 29 ページ) で聞きたい曲を探すこともできます。

タイトルはカナ、アルファベットなど半角で20文字まで入力できます。漢字やひらがなの入力はできません。

再生専用MDには、タイトル入力できません。誤消去防止つまみ (E3 録音 ① 56 ページ) を開いているMDには、タイトル入力できません。

ありえない濁点および半濁点は、タイトルを記憶したときに、自動的に削除されます。すでに入力されているタイトルが21文字以上あるときに、本機で入力すると、21文字目以降は削除されてしまいます。

ブランクディスク (曲が録音されていないMD) にはタイトル入力できません。

すでに漢字やひらがなが入力されているディスクには、タイトル入力することはできませんが、入力したカナやアルファベットは表示しません。漢字、ひらがなのみ表示します。

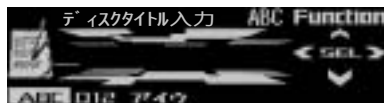
ディスクタイトルを入力するとき

1 タイトルを入力したいMDを再生する

(E3 ここだけで ④ 20 ページ)

2 ディスクタイトル入力モードにする

FUNCボタン、NEXTボタン、DISCinボタンの順に押す



3 ディスクタイトルを入力する

CDタイトル入力 (E3 マルチCD ⑩ 45 ページ) の手順3～6を参照し、同様の操作でMDのタイトルを入力してください。

トラックタイトルを入力するとき

1 タイトルを入力したいMDを再生する

(☞ ここだけで③ 20ページ)

2 トラックタイトル入力モードにする

FUNC ボタン、NEXT ボタン、TRKin ボタンの順に押す



3 タイトルを入力したい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

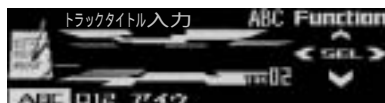
- ▶ : 次の曲を選ぶとき
- ◀ : 前の曲を選ぶとき



選んだ曲番号が表示されます。

4 トラックタイトルを入力する

▲ ボタンを押す



トラックタイトル入力画面になります。
CDタイトル入力 (☞ マルチCD⑩ 45ページ) の手順3～6を参照し、同様の操作でMDのタイトルを入力してください。

メモ

トラックタイトル入力中に次の曲になっても、入力中のトラックタイトルは手順3、4で選んだ曲に記憶されます。



セクションキー ◀▶ ボタン

CD/MD
8

MDのタイトル表示を切り換える

タイトル表示 / タイトルスクロール

ディスクタイトルやトラックタイトルを表示させることができます。一度に半角で32文字、全角で16文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 内蔵MDの機能です。

タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。MDに漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

表示をディスクタイトルまたはトラックタイトルに切り換えたときに、隠れているタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

ディスクタイトル、トラックタイトルが入力されていない場合、“No title”が表示されます。

本機では、MDの録音方法に関わらずトラックタイトルの先頭の「LP:」を表示しません。(※はじめに⑥ 13ページ) (長時間録音されたトラックタイトルの先頭には、「LP:」があらかじめ入力されている場合があります。)

本機は、MDのグループ機能に対応していません。グループ登録されたMDを再生すると、ディスクタイトルはグループ名などを含めた状態で表示されます。

2 表示したいタイトルを選ぶ

表示したいタイトルのボタンを押す

FORM 1

ボタン	表示内容
D.TTL	ディスクタイトル
T.TTL	トラックタイトル
THNDR	稲妻のアニメーション
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

FORM 2

ボタン	表示内容
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

メモ

タイトルモードは、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

タイトルモードでは、◀▶ボタンで曲を選ぶことはできません。

FORM 2を選んでいない場合、一度に表示できるのは全角で12文字、半角で24文字までになります。ディスクタイトルやトラックタイトルが入力されていない場合は、ディスクタイトル表示・トラックタイトル表示ともに“ No title ”が表示されます。

1 タイトルモードにする

TITLE ボタンを押す

CDのタイトルを入力する

ディスクタイトル入力

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルはディスプレイに表示されます。

CDのタイトル入力について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルを入力しておく、CD再生時に入力したタイトルが表示されます。タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。(☞ マルチCD ⑩ 45 ページ)

タイトルは、10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

タイトル入力機能のないマルチCDを組み合わせると、タイトル入力することができなくなります。

CDのタイトル表示を切り換える

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

タイトル表示/タイトルスクロール(つづき)

「CD TEXT」再生中に、ディスクタイトルのほかにトラックタイトルやディスクアーティスト名を表示させることができます。全角で16文字、半角で32文字まで一度に表示することができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見ることでもできます。

1 タイトルモードにする

TITLE ボタンを押す

2 表示したいタイトルを選ぶ

表示したいタイトルのボタンを押す

FORM 1

ボタン	表示内容
D.TTL	ディスクタイトル
D.ART	ディスクアーティスト名
T.TTL	トラックタイトル
T.ART	トラックアーティスト名
THNDR	稲妻のアニメーション
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

FORM 2

ボタン	表示内容
TTL1	ディスクタイトルとトラックタイトル
TTL2	ディスクタイトルとディスクアーティスト名
TTL3	トラックタイトルとトラックアーティスト名
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

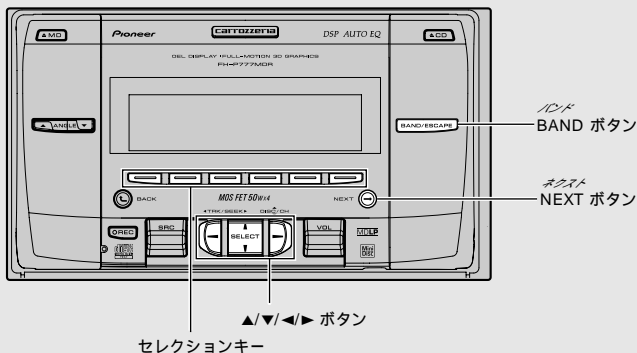
メモ

タイトルモードは、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

タイトルモードでは、◀/▶ ボタンで曲を選ぶことはできません。

FORM 2 を選んでいる場合、一度に表示できるのは全角で12文字、半角で24文字までになります。トラックアーティスト名などが記憶されていないCDで表示を切り換えると、「No artist name」などが表示されます。

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「No title」が表示されます。



ラジオ 1 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 23ページ)

3 “1”～“6”を表示する

NEXT ボタンを押す
“1”～“6”が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。



4 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの 1 つを押す

確認

“1” ~ “6” が表示されていないときは、NEXT ボタンで “1” ~ “6” を表示してから操作してください。

記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 ファンクションモードにする

FUNC ボタンを押す

2 セレクションキーを切り換える

NEXT ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSM → chLIST

chLIST

BSM → chLIST に戻る

3 操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す

押したボタンのモードに切り換わります。
(各モードの操作は、それぞれのモードの説明を参照してください。)

4 ファンクションモードを解除する

BAND ボタンを押す

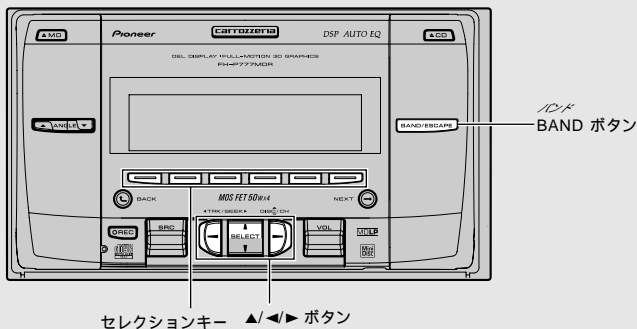
リモコンの場合

FUNCTION ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSM → chLIST → ST.SEL → BSM に戻る

メモ

ファンクションモードは、約 30 秒間、何も操作しないと自動的に解除されます。

ラジオ
4

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 BSM 設定モードにする

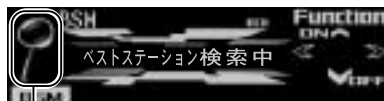
FUNC ボタンを押す

BSM 設定モード以外を選んでいる場合は、BSM ボタンを押してください。

3 BSM を始める

BSM ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



記憶動作中に表示されます。

記憶が終わるとステーションリストモードに切り換わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

4 聞きたい放送局を選ぶ

聞きたい放送局と同じ番号のボタンを押す



いま受信中の放送局の番号の下に、“_”が表示されます。

選んだ放送局を受信します。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ 2 35 ページ)

BSMは、リモコンのDFボタンで操作することもできます。(便利な機能 1 86 ページ)

放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

ステーションリスト

1～6のボタンに記憶させた放送局を、放送局名の一覧表(ステーションリスト)の中から選ぶことができます。

1 ステーションリストモードにする

FUNCボタン、chLISTボタンの順に押す

2 聞きたい放送局を選ぶ

聞きたい放送局と同じ番号のボタンを押す



いま受信中の放送局の番号の下に、“_”が表示されます。

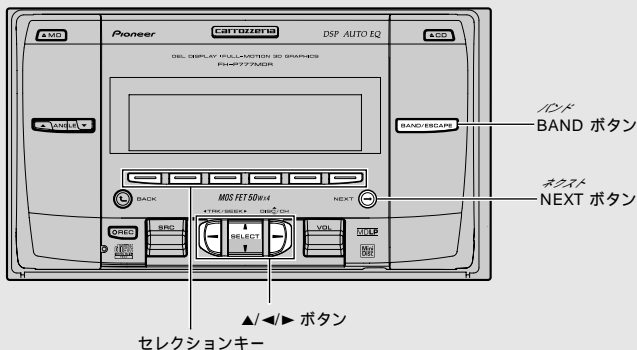
選んだ放送局を受信します。

メモ

記憶させた放送局名と、表示される放送局名が異なる場合は、放送局名を変更することができます。
(ラジオ 5 38 ページ)

放送局名選択 (ラジオ 5 38 ページ) で、放送局名を空白にしたときは、周波数が表示されます。

◀/▶ ボタンで聞きたい放送局を選び、▲ボタンで選んだ放送局を呼び出すこともできます。



ラジオ 6 放送局名を変更する

放送局名選択

ディスプレイに表示されている放送局名が、受信している放送局名と異なるときは、放送局名を変更することができます。

放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例:FM 80.0MHzを使用している放送局は“TOKYO FM”“FM青森”“FM福岡”など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで④ 22 ページ)

2 変更したい放送局を選局する

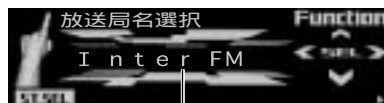
◀または▶ ボタンを押す
(ここだけで④ 23 ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNC ボタン、NEXT ボタン、ST.SEL ボタンの順に押す

4 放送局名を選ぶ

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶: 次の放送局名を選ぶとき
- ◀: 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



“OK” と表示され、変更したことを知らせます。

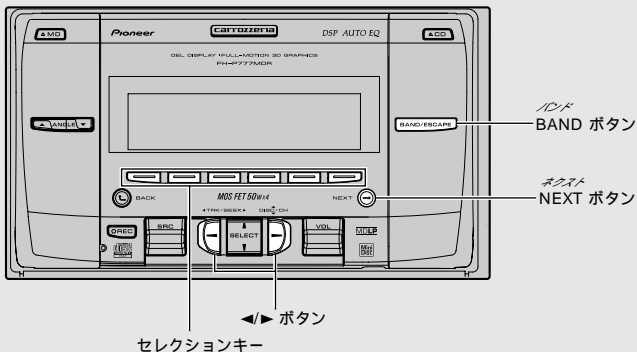
メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が記憶されていないと、“No Data” と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、全て空白の表示を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM653」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、放送局名を“FM TVsound”に変更して表示することができます。



マルチCD
1

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

マルチCD
2

聞きたいCDを直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDを直接選ぶことができます。

1 “1”～“6”(または“7”～“12”)を表示する

NEXT ボタンを押す

“1”～“6”(または“7”～“12”)が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。



2 聞きたいCDを選ぶ

1～6(または7～12)のボタンを押す



CD番号

メモ

6連奏マルチCDプレーヤーをご使用の場合、“7”～“12”の表示には切り換わりません。

モードの切り換え かた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 ファンクションモードにする

FUNC ボタンを押す

2 セレクションキーを 切り換える

NEXT ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

RPT RDM SCAN T.LIST D.LIST PAUSE ▶

TTLin COMP ITS.P ITS.M ▶

RPT RDM SCAN T.LIST D.LIST PAUSE ▶ に戻る

3 操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す

押したボタンのモードに切り換わります。(各モードの操作は、それぞれのモードの説明を参照してください。)

4 ファンクションモードを 解除する

BAND ボタンを押す

リモコンの場合

FUNCTION ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

RPT → RDM → SCAN → T.LIST →
D.LIST → PAUSE → TTLin → COMP →
ITS.P → ITS.M → RPT に戻る

メモ

ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、タイトル入力モード(TTLin)、ITS登録モード(ITS.M)を選んでいる場合、自動では解除されません。トラックリストモード(T.LIST)は、「CD TEXT」に対応しているマルチCD(CDX-P670など)で「CD TEXT」を再生しているときのみ表示され、操作することができます。

同じ曲やCDを繰り返し 返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞き聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞き聞など、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲(繰り返し聞く範囲)は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マガジンリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 再生範囲切換モードにする

FUNC ボタンを押す

再生範囲切り換えモード以外を選んでいる場合は、RPT ボタンを押してください。

2 再生範囲を切り換える

RPT ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



Track repeat (トラックリピート)

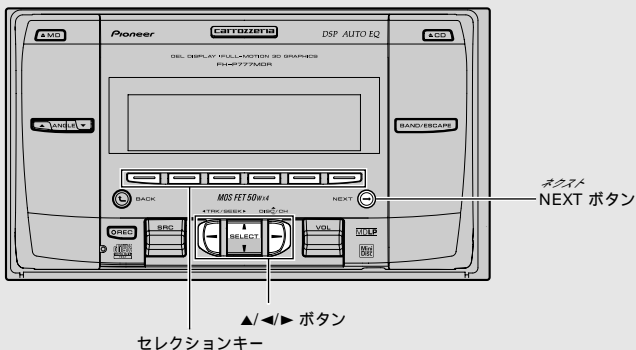
Disc repeat (ディスクリピート)

Magazine repeat (マガジンリピート)

Track repeat に戻る

メモ

◀/▶ ボタンで再生範囲を切り換えることもできます。



マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 再生範囲切替モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD 41 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

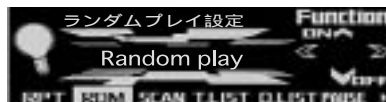
2 ランダムプレイ設定モードにする

FUNC ボタン、RDM ボタンの順に押す

3 ランダム再生をONにする

RDM ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします



次の曲から、ランダムに選曲します。

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

マルチCD 6 聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 再生範囲切替モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD 41 ページ)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

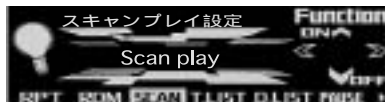
再生範囲をマガジンリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンプレイ設定モードにする

FUNC ボタン、SCAN ボタンの順に押す

3 スキャン再生を始める

SCAN ボタンを押す



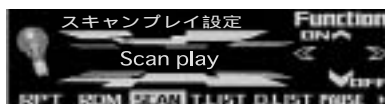
曲の始めの約 10 秒間が次々に再生されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生を OFF にする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順 2 の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を OFF にしてください。

スキャンプレイ設定モードのときに SCAN ボタンを押す



メモ

スキャン再生を始めた曲 (または CD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。トラックリピートのときに、スキャン再生を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチ CD プレーヤー(「CDX-P670」など)の機能です。

1 トラックリストモードにする

FUNC ボタン、T.LIST ボタンの順に押す



いま聞いている曲の番号の下に、「_」が表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチ CD プレーヤー(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときだけ、トラックリストモードに切り換わります。)

2 聞きたい曲名を表示する

NEXT ボタンを押す

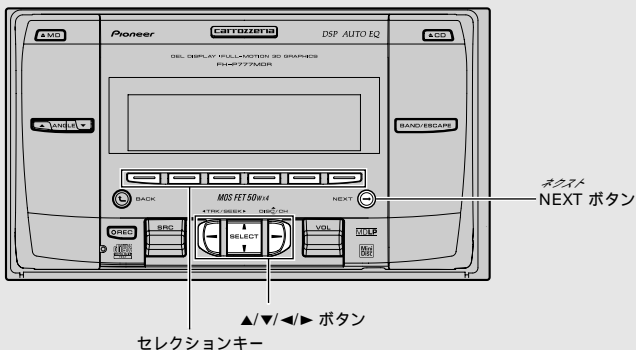
ボタンを押すごとに 6 曲ずつ切り換わります。

3 聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲と同じ番号のボタンを押す
選んだ曲が再生されます。

メモ

◀/▶ ボタンで聞きたい曲を選び、▲ ボタンで選んだ曲を再生することもできます。「CD TEXT」に曲名が収録されていないときは、「No T.Title」が表示されます。



8 マルチCD タイトルを見て聞きたいCDをさがす

ディスクリスト

CDのタイトル一覧(ディスクリスト)を見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 ディスクリストモードにする

FUNC ボタン、D.LIST ボタンの順に押す



いま聞いているCDの番号の下に、“_”が表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

聞きたいCDと同じ番号のボタンを押す
選んだCDが再生されます。

メモ

7～12枚目のディスクを選ぶ場合、NEXT ボタンを押して“7”～“12”を表示してから、手順2の操作で聞きたいCDを選びます。6連奏マルチCDプレーヤーをご使用の場合、“7”～“12”の表示には切り換わりません。

◀/▶ ボタンで聞きたいCDを選び、▲ ボタンで選んだCDを再生することもできます。
マルチCD内のトレイにCDが入っていないときは、“No disc”が表示されます。また、タイトルが記憶されていないCDを入れたときは、“No D.Title”が表示されます。

9 マルチCD CD再生を一時停止する

ポーズ

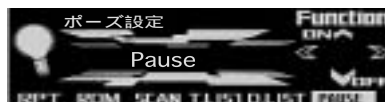
CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズ設定モードにする

FUNC ボタン、PAUSE ボタンの順に押す

2 CD再生を一時停止する

PAUSE ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



メモ

次のPAUSE ボタンでも、ポーズのON/OFFをすることができます。



リモコンのDF ボタンでも、ポーズのON/OFFをすることができます。(☞ 便利な機能① 86 ページ)

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトル入力しておくこと、CD再生時に入力したタイトルが表示されます。

CDにタイトルをつけると、ディスクリスト(☞ マルチCD⑨)で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)では、「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルで、同様にディスクリスト(☞ マルチCD⑨)やトラックリスト(☞ マルチCD⑦ 43ページ)を表示することができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS(☞ マルチCD⑩ 48ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ ここだけで⑤ 24ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCボタン、NEXTボタン、TTLinボタンの順に押す

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換えると、「入力できません」と表示され、タイトルを入力することはできません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

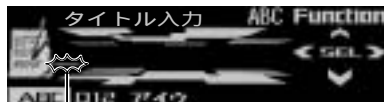
3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶：右に移動させるとき

◀：左に移動させるとき



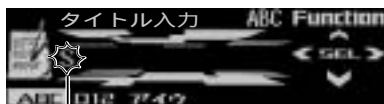
入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

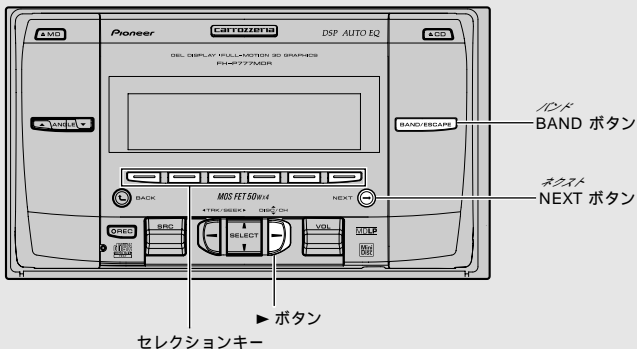
▼：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
ABCボタン (ABCボタンを 押すごとに切り 換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白() アルファベットの 大文字(A~Z)、数字 (0~9)、記号(!、#、&など) 空白()
012ボタン	数字(0~9)、 記号(!、#、&など)、 空白()
アイウボタン (アイウボタンを 押すごとに切り 換わります。)	カタカナ(ア~ン)、 音引き(-)、 空白() 拗促音(ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白()



マルチCD
10

CDのタイトルを入力する(つづき)

タイトル入力(つづき)

4 入力が終わったらカーソルをいちばん右に移動する



余ったところを空白にして、カーソルをいちばん右に移動させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

6 タイトル入力モードを解除する

BAND ボタンを押す

メモ

タイトル入力中(文字が点滅しているとき)にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

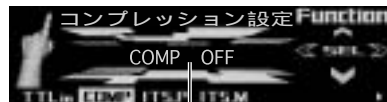
COMPとは、Compression (コンプレッション)の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定モードにする

FUNCボタン、NEXTボタン、COMPボタンの順に押す



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“No COMP”が表示されて、操作ができません。

2 機能を選ぶ

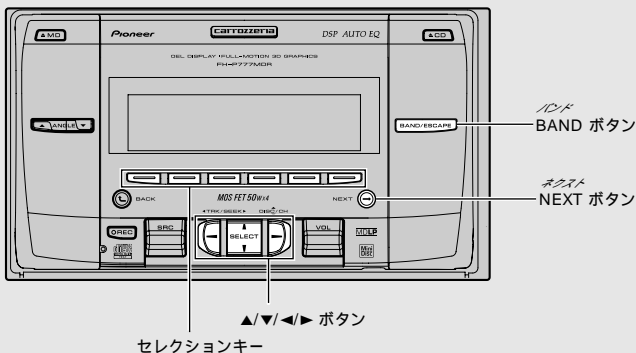
COMPボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- COMP OFF → COMP 1 (コンプレッション1)
- COMP 2 (コンプレッション2)
- COMP OFF → DBE 1 → DBE 2
- COMP OFFに戻る

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



マルチCD 12 聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS登録

記憶させた曲だけ再生する (ITS マルチCD 12) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (ITS マルチCD 12) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル (ITS マルチCD 10 45ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(ITS ここだけで 24 ページ)

2 ITS登録モードにする

FUNCボタン、NEXTボタン、ITS.Mボタンの順に押す

3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す
(ITS ここだけで 25 ページ)

4 記憶させる

MEMOボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

5 ITS登録モードを解除する

BANDボタンを押す

メモ

ITS登録モードでは、▲ボタンでも曲を登録することができます。

記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 登録 (☞ マルチCD⑫) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD④ 41 ページ)

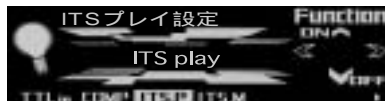
選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS プレイ設定モードにする

FUNC ボタン、NEXT ボタン、ITS.P ボタンの順に押す

3 ITS 再生を ON にする

ITS.P ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS 消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS 再生を ON にする

(☞ マルチCD⑬)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

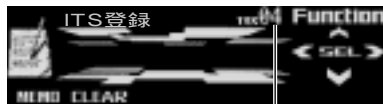
(☞ ここだけで⑤ 25 ページ)

3 ITS 登録モードにする

FUNC ボタン、NEXT ボタン、ITS.M ボタンの順に押す

4 消去する

CLEAR ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

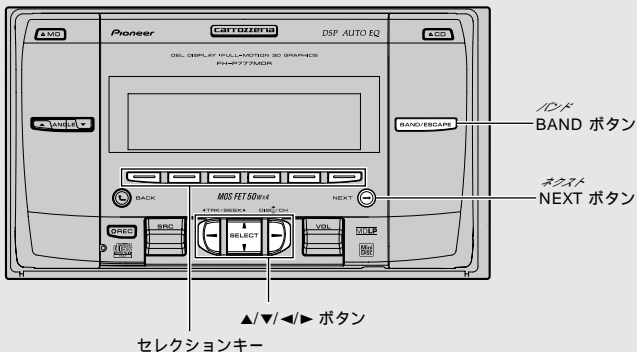
5 ITS 登録モードを解除する

BAND ボタンを押す

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

ITS登録モードでは、▼ボタンでも曲を消去することができます。



マルチCD 15 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS 消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(ここだけで⑤ 24 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(マルチCD⑩ 49 ページ)

4 ITS登録モードを解除する

BAND ボタンを押す

メモ

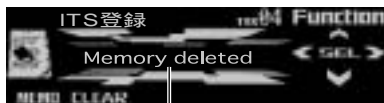
ITS登録モードでは、▼ボタンでもCDごとに曲を消去することができます。

2 ITS登録モードにする

FUNC ボタン、NEXT ボタン、ITS.M ボタンの順に押す

3 消去する

CLEAR ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

タイトル表示を切り換える

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CDTEXT」再生中に、ディスクタイトルのほかにトラックタイトルやディスクアーティスト名を表示させることができます。全角で16文字、半角で32文字まで一度に表示することができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見ることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

1 タイトルモードにする

TITLE ボタンを押す

2 表示したいタイトルを選ぶ

表示したいタイトルのボタンを押す

FORM 1

ボタン	表示内容
D.TTL	ディスクタイトル
D.ART	ディスクアーティスト名
T.TTL	トラックタイトル
T.ART	トラックアーティスト名
THNDR	稲妻のアニメーション
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

FORM 2

ボタン	表示内容
TTL1	ディスクタイトルとトラックタイトル
TTL2	ディスクタイトルとディスクアーティスト名
TTL3	トラックタイトルとトラックアーティスト名
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

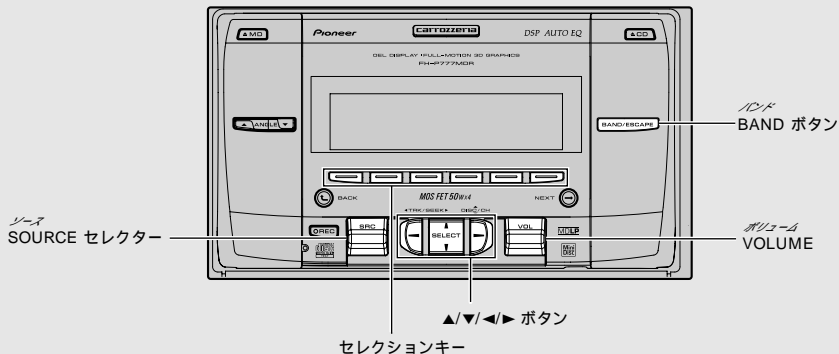
メモ

タイトルモードは、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

タイトルモードでは、◀/▶ボタンで曲を選ぶことはできません。

FORM 2を選んでいる場合、一度に表示できるのは全角で12文字、半角で24文字までになります。トラックアーティスト名などが記憶されていないCDで表示を切り換えると、“No artist name”などが表示されます。

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“No title”が表示されます。



マルチMD プレーヤーについて

本機でのマルチMDプレーヤーの基本的な操作方法を説明しています。マルチMDプレーヤーの機能について、詳しくは組み合わせたマルチMDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

画面例)



マルチMD 1 マルチMDの ふだんの操作

ここだけの操作で、マルチMDプレーヤーでMDを聞くことができます。

1 ソースをマルチMDにする

SOURCE セレクターを上下に押す

2 聞きたいMDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ボタンを押す

4 音量を調節する

VOLUME を上下に押す

5 マルチMD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする

メモ

1 ~ 6 ボタンで直接ディスクを選ぶこともできます。
(マルチCD ② 40 ページ)

ファンクションモードの操作

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 ファンクションモードにする

FUNC ボタンを押す

2 操作したいモードを選ぶ

操作したいモードのボタンを押す

RPT RDM SCAN DLIST

3 選んだモードを操作する

再生範囲切換モード (RPT)

RPT ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Track repeat → Disc repeat → MultiMD repeat → Track repeatに戻る

ランダムプレイ設定モード (RDM)

RDM ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Random OFF → Random 1 → Random 2 → Random OFFに戻る

スキャンプレイ設定モード (SCAN)

SCAN ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Scan OFF → Scan 1 → Scan 2 → Scan OFFに戻る

ディスクリストモード (D.LIST)

ディスクリストモードの操作方法はマルチCDと同じです。(※ マルチCD ⑧ 44 ページ)

4 ファンクションモードを解除する

BAND ボタンを押す

メモ

ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

タイトル表示を切り換える

タイトル表示/タイトルスクロール

ディスクタイトルやトラックタイトルを表示させることができます。全角で16文字、半角で32文字まで一度に表示することができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見えることもできます。

1 タイトルモードにする

TITLE ボタンを押す

2 表示したいタイトルを選ぶ

表示したいタイトルのボタンを押す

FORM 1

ボタン	表示内容
D.TTL	ディスクタイトル
T.TTL	トラックタイトル
THNDR	稲妻のアニメーション
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

FORM 2

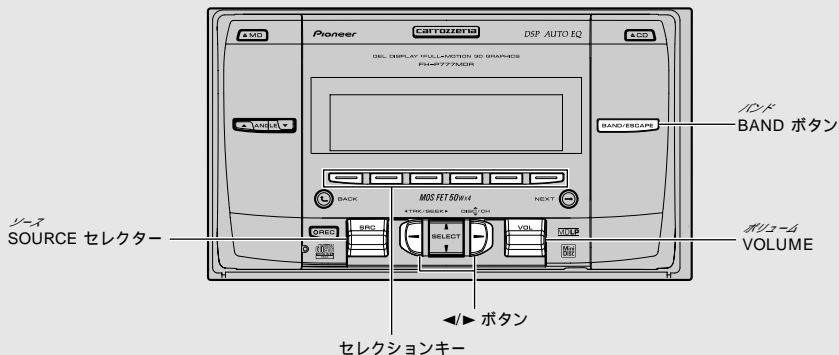
ボタン	表示内容
SCROLL	表示しているタイトルのスクロール

メモ

タイトルモードは、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

タイトルモードでは、◀▶ ボタンで曲を選ぶことはできません。

FORM 2 を選んでいる場合、一度に表示できるのは全角で12文字、半角で24文字までになります。タイトルが入力されていないMDで表示を切り換えると、“No title” が表示されます。



テレビについて

本機でのテレビの基本的な操作方法を説明しています。テレビの機能について、詳しくは組み合わせたテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機では、記憶させたチャンネルを一覧表示して見たいチャンネルを選ぶこともできます。(☞ テレビ③)

画面例)



テレビ 1 テレビのふだんの操作

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

1 ソースをテレビにする

SOURCE セレクターを上下に押す

2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

3 チャンネルを選局する

◀または▶ ボタンを押す

4 音量を調節する

VOLUME を上下に押す

5 テレビの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にする

メモ

1 ~ 12 ボタンで好みのチャンネルの記憶や呼び出しを行うことができます。(☞ ラジオ①② 34、35 ページ)

テレビ
2

ファンクション モードの操作

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 ファンクションモードにする

FUNC ボタンを押す

2 操作したいモードを選ぶ

操作したいモードのボタンを押す

BSSM chLIST MPX

3 選んだモードを操作する

BSSM 設定モード (BSSM)

BSSM ボタンを押すごとに ON/OFF します。BSSM が終了すると、自動的にチャンネルリストモードに切り換わります。

チャンネルリストモード (chList)

chList ボタンを押すとチャンネルリストモードに切り換わります。(☞ テレビ③)

マルチプレックス選択モード (MPX)

MPX ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Main → Sub → Main & Sub → Main に戻る

4 ファンクションモードを 解除する

BAND ボタンを押す

メモ

ファンクションモードは、約 30 秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

BSSM とは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー) の略です。

テレビ
3

チャンネル一覧から見た いチャンネルを呼び出す

チャンネルリスト

1 ~ 12 のボタンに記憶させたチャンネルの一覧 (チャンネルリスト) から見たいチャンネルを選ぶことができます。

チェック チャンネルリスト機能に対応しているテレビで操作できます。

1 チャンネルリスト モードにする

FUNC ボタン、chLIST ボタンの順に押す



いま受信中のチャンネルの番号の下に、“_”が表示されます。

2 見たいチャンネルを選ぶ

見たいチャンネルと同じ番号のボタンを押す

選んだチャンネルを受信します。

メモ

7 ~ 12 ボタンに記憶されているチャンネルを選ぶ場合、NEXT ボタンを押して“7”~“12”を表示してから、手順 2 の操作で見たいチャンネルを選びます。

録音する前に

録音する前に必ずお読みください。

録音についてのご注意



注意

録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。

本製品の故障、誤動作または不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

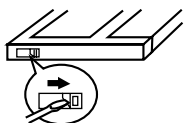
お問い合わせ先：社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー11F

電話 (03) 5353-0336 FAX (03) 5353-0337

誤消去防止つまみについて

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音したいときは、つまみを閉じます。



デジタル録音とアナログ録音について

本機は、内蔵CDからMDへデジタル録音することができます。内蔵CD以外のソース(ラジオ、マルチCDなど)からの録音はアナログ録音になります。デジタル録音は、ほとんど劣化なく録音(コピー)できアナログ録音より高音質なため、CDからMDへの録音は内蔵CDからの録音(録音② 58ページ)をお勧めします。

TOC (Table of Contents) について

TOCとは、曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

MDに録音すると、TOCがディスクの内周部分に記録されます。再生やタイトル表示などはこれを使って行います。TOCはMDを取り出したときにMDに記録されます。TOCの記録中(TOC WRITE 点滅中)に電源をOFFにしたり、本体に衝撃を与えたりしないでください。TOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなる場合があります。

メモ

再生専用MDには、録音できません。本機には、曲分け、曲つなぎ、曲移動などの編集機能はありません。

録音用MDの録音可能な録音時間が、録音しようとしているCDのディスクや曲のトータル時間より短い場合は、“Time short”が表示され、MDのディスクの残り時間分のみ録音します。録音は、すべてステレオ録音になります。モノラル録音はできません。

録音済みのMDでは、未録音部分を探して録音します。録音を終えたあとMDを取り出すと、“TOC.W”表示が点滅し、ディスプレイに“TOC write”と表示されます。このときにTOCがMDに記録されます。

録音済みのMDの内容を消すには(録音⑥ 64ページ)次のような場合は、録音待機状態が解除されます。

- * 電源をOFFにしたとき
- * 車のエンジンをかけたとき
- * ソースを切り換えたとき
- * BAND、MD EJECT ボタンを押したとき
- * CDを挿入したとき(内蔵CDから録音するとき以外)
- * 録音元のソースとの接続が切れた場合(マルチCDから録音するときなど)

次のような場合は、録音解除されます。

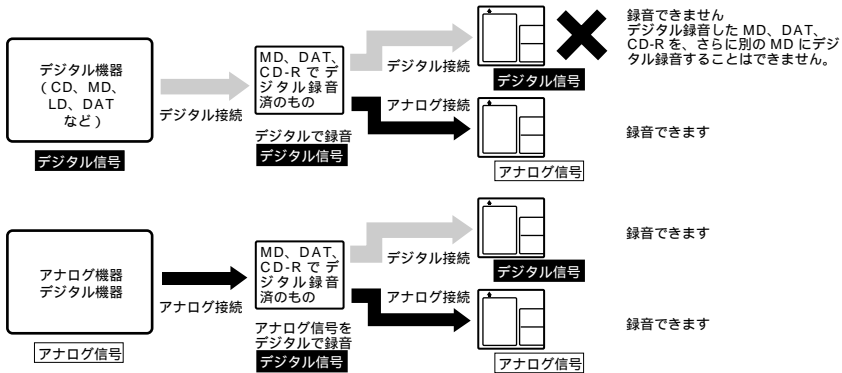
- * 車のエンジンをかけたとき
- * REC ボタンを押したとき
- * 録音元のソースとの接続が切れた場合(マルチCDから録音するときなど)
- * MDやCDのエラーのとき(録音⑥ その他⑤ 106ページ)
- * 同じところで音飛びを3回起こしたとき(内蔵CDから録音するとき)

TOCに異常がある場合(ERROR-24が表示されたとき)は、録音できません。他のMDと交換するか、全曲消去してから録音してください。いったん消去するとともに戻せません。消去する前にもう一度確認してください。

デジタルコピーについてのご注意

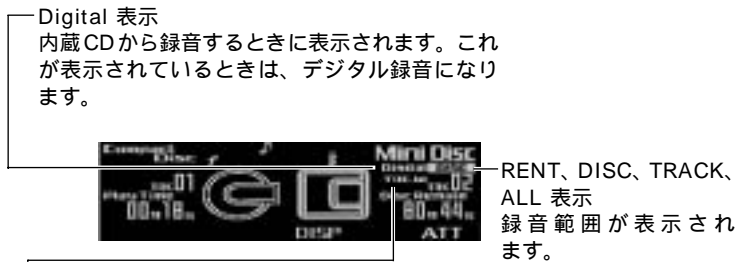
CDなどからデジタル録音したものを、さらにMDやDATなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これは違法コピーを防止するために開発された複製防止システム(SCMS = シリアルコピーマネージメントシステム)により定められています。

本機では、内蔵CDでCD-Rを再生しているときに、録音できないことがあります。



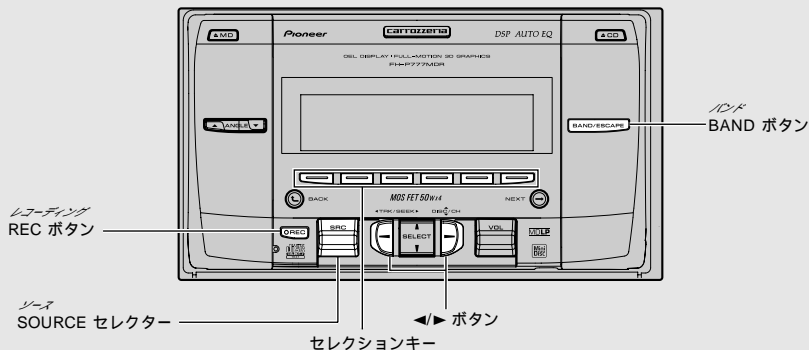
録音時のディスプレイ表示について

録音時に、録音範囲などの状態がディスプレイに表示されます。



TOC.W 表示

録音したり、タイトルを入力するなどTOCが作られると点灯します。MDを取り出すと点滅し、TOCがMDに記憶されます。

録音
2

内蔵CD からCD を録音する

ディスク録音 / トラック録音 / レンタル録音

内蔵CDで再生した曲をMDに録音することができます。

録音範囲について

録音範囲は、次の中から選ぶことができます。

録音範囲	録音の内容
Disc	今聞いている曲からCDの最 (ディスク録音) 後の曲までを録音するとき。 CDを全曲録音するには手順7 で1曲目を選んでください。
Track	今聞いている曲を1曲だけ録 (トラック録音) 音するとき
Rental	CDの最初の1曲のみ録音す (レンタル録音) るとき。レンタル録音は、例 えばヒットソング集を作ると きに、何枚かのシングルCD の1曲目だけを録音するこ とができ便利です。

レンタル録音のときは、フロントパネルをCD EJECT 位置にしておくとう便利です。
(☞ はじめに⑦ 14 ページ)

録音が終わると自動的にCDが出てきます。再度CDを挿入すると自動的に録音が始まり、録音が終わると自動的にCDが出てきます。(CDの1曲目だけを続けて何枚も録音したいときに便利です。)

1 録音用MD をセットする

(☞ ここだけで③ 20 ページ)

2 ソースを内蔵CDにする

SOURCEセレクターを上下に押す
(☞ ここだけで① 16 ページ)

3 録音待機状態にする

REC ボタンを2秒以上押す

“Ready” が表示されたあと、“MD pause” が表示され、録音待機状態になります。



CDの曲番号 MDの曲番号
CDの情報 MDのディスク
DISP ボタンを 残り時間
押すごとに次のよう

に切り換わります。

録音範囲が “Disc” のとき

再生経過時間 ディスク残り時間
ディスクトータル時間 再生経過時間に戻る

録音範囲が “Track”、“Rental” のとき

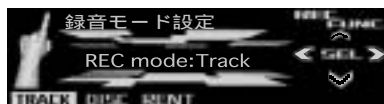
再生経過時間 聞いている曲の残り時間
聞いている曲のトータル時間
再生経過時間に戻る

4 録音モードにする

FUNC ボタン、R.MODE ボタンの順に押す

5 録音範囲を切り換える

TRACK ボタン、DISC ボタン、RENT ボタンのいずれかを押す



6 録音モードを解除する

BAND ボタンを押す

(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

7 録音したい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで② 18ページ)

確認

手順5で録音範囲を“Disc”にしたときは、今聞いている曲の頭から録音します。CDを全曲録音したいときは、1曲目を選んでください。

手順5で録音範囲を“Track”にしたときは、今聞いている曲の頭から1曲のみ録音します。

手順5で録音範囲を“Rental”にしたときは、今何曲目を聞いていても、1曲目に戻って録音します。(◀または▶ ボタンを押しても自動的に1曲目を選曲します。)

8 録音する

REC ボタンを押す

自動的に曲の頭から録音されます。



録音中に表示されます。

自動的に録音が終わります。

“Ready”が表示されたあと“MD pause”が表示され、録音待機状態に戻ります。

9 録音待機状態を解除する

BAND ボタンを押す

メモ

録音中にRECボタンを押すと、録音を中止することができます。

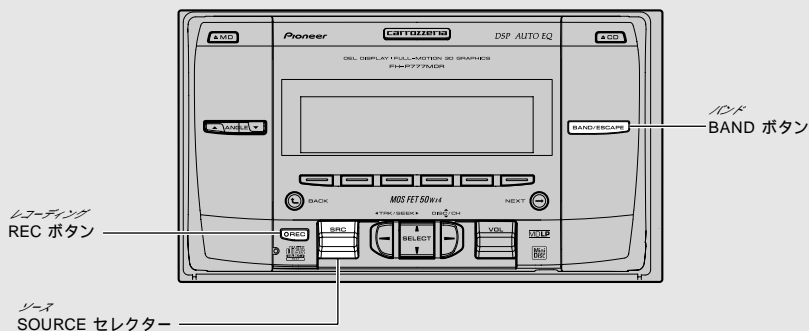
録音中にCDが音飛びした場合、その曲の頭に戻って録音をやり直します。(リトライ機能)

MDの254曲目でCDが音飛びした場合、その曲の頭からではなく、録音を開始した曲から録音をやり直します。

録音待機中は、今聞いている曲のリPEAT再生になります。録音を開始するとリPEAT再生は解除されます。

ランダム、トラックスキャン、ポーズを設定しているときは、録音待機状態にするとしPEAT再生に切り換わります。録音を開始するとリPEAT再生は解除されます。

録音待機中は、早送り/早戻し操作はできません。

録音
3

ラジオ/テレビを録音する

リカバリ録音

ラジオおよびテレビの放送をMDに録音することができます。録音開始が遅れても、最大15秒前までの放送を録音することができます。(リカバリ録音)

1 録音用MDをセットする

(☞ ここだけで④ 20ページ)

2 ソースをラジオ (またはテレビ) にする

SOURCE セレクターを上下に押す

(☞ ここだけで① 16ページ)

3 録音したい放送局を選ぶ

(☞ ここだけで④ 23ページ)

テレビの放送局を選ぶときは

(☞ テレビ① 54ページ)

4 録音待機状態にする

REC ボタンを2秒以上押す

“Ready”が表示されたあと、“MD pause”が表示され、録音待機状態になります。



メモ

録音待機状態にしたときから、放送をメモリーに蓄え始めます。メモリーは最大で15秒間まで蓄えることができます。

5 録音を始める

REC ボタンを押す

ボタンを押した時点より最大 15 秒前の放送から録音が始まります。



録音中に表示されます。

6 録音をやめる

REC ボタンを押す

“Ready” が表示されたあと、“MD pause” が表示され、録音待機状態に戻ります。

7 録音待機状態を解除する

BAND ボタンを押す

メモ

1 回の録音を 1 曲として、曲番が付きます。録音中に ▲ ボタンを押すと、曲番を付けたいところに手動で曲番を付けることができます。(曲番は最大 254 曲まで付けることができます。)

ラジオおよびテレビを録音するときは、録音範囲を選ぶことはできません。

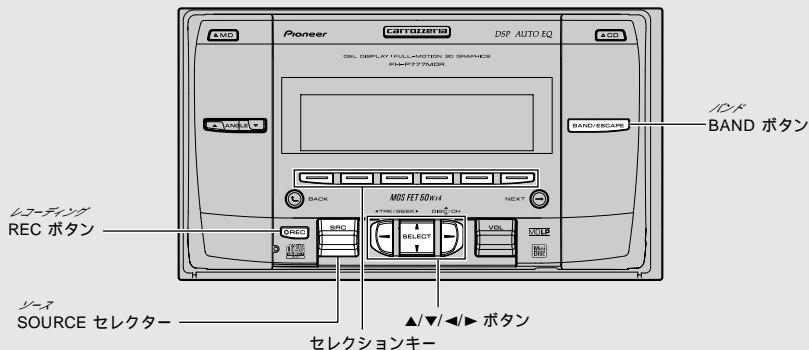
選局中は、録音を始められません。

リカバリー録音を OFF にすることはできません。

テレビの操作について詳しくは (📖 テレビの取扱説明書)

AUX (外部機器) や External1、External2 (エクスターナルユニット) から同様に録音することができます。それぞれの機器を接続し録音用 MD をセットしたあと、手順 4 ~ 6 を参照して同様の操作で録音してください。なお、AUX (外部機器) や External1、External2 (エクスターナルユニット) では、リカバリー録音はできません。AUX (外部機器) や External1、External2 (エクスターナルユニット) の操作について詳しくは (📖 それぞれの取扱説明書)

振動の多い道路などで録音すると、自動的に曲番が付くことがあります。

録音
4

マルチCD/MD からCD/MD を録音する

ディスク録音 / トラック録音

マルチCD/MDプレーヤーで再生した曲を録音することができます。

ご注意

マルチCD/MDからの録音は、録音範囲にかかわらず、曲やディスクの頭出しをしません。RECボタンを押した時点(手順8)から録音が始まるので、曲やディスクの始めから録音したいときは、手順7のあとすばやくRECボタンを押す必要があります。

また、マルチCD/MDからの録音はアナログ録音です。デジタル録音に比べると、音質が劣ることがあります。

CDから録音するときは、内蔵CDから録音(デジタル録音)することをお勧めします。

録音範囲について

録音範囲は、次の中から選ぶことができます。

録音範囲	録音の内容
ALL (連続録音)	今聞いている曲からディスクの最後の曲までを録音するとき。曲およびディスクの頭出しはしません。手順9で録音をやめないと、録音は終了しません。
Track (トラック録音)	今聞いている曲を1曲だけ録音するとき。曲の頭出しはしません。

2 ソースをマルチCD (またはマルチMD) にする

SOURCEセレクターを上下に押し
(☞ ここだけで① 16ページ)

3 録音待機状態にする

RECボタンを2秒以上押し
“Ready”が表示されたあと、“MD pause”が表示され、録音待機状態になります。



マルチCD (またはMD) の再生経過時間

MDの曲番号
MDのディスク
残り時間

マルチCD (またはMD) のディスク番号および曲番号

メモ

マルチCDで、ポーズ設定をONにしているときは、録音できません。(☞ マルチCD⑨ 44ページ)

1

録音用MDをセットする

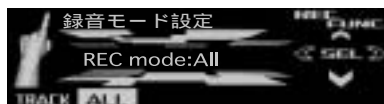
(☞ ここだけで① 20ページ)

4 録音モードにする

FUNC ボタン、R.MODE ボタンの順に押す

5 録音範囲を切り換える

TRACK ボタンまたはALL ボタンを押す



6 録音モードを解除する

BAND ボタンを押す

(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

7 録音したいディスクおよび曲を選ぶ

ディスクを選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで⑤ 24ページ)

曲を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで⑤ 25ページ)

メモ

マルチMDでの操作については (☞ マルチMD① 52ページ)

8 録音する

手順7のあと、すばやくRECボタンを押す

RECボタンを押した時点から録音が始まります。(曲の頭出しはしません。)



録音中に表示されます。

手順5で録音範囲を“Track”にしたときは、録音が終わると、自動的に録音待機状態に戻ります。録音範囲を“ALL”にしたときは、最後の曲が終了しても、録音が終了しません。手順9の操作をしてください。

9 録音をやめる

RECボタンを押す

“Ready”が表示されたあと、“MD pause”が表示され、録音待機状態に戻ります。

10 録音待機状態を解除する

BANDボタンを押す

メモ

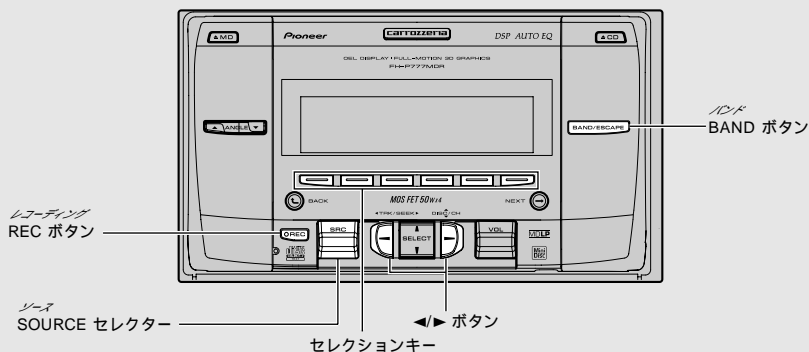
録音元のCDおよびMDの音が一定レベル以下の状態が続くと、自動的に曲番が付きます。また、録音中に▲ボタンを押すと、曲番を付けたいところに手動で曲番を付けることができます。(曲番は最大254曲まで付けることができます。)

録音元のCDおよびMDによっては、曲の途中を終わりと判断したり、曲の終わりの判断ができない場合があります。

録音中にCDおよびMDが音飛びした場合、そのまま録音されます。

マルチCDでITS再生 (☞ マルチCD④ 49ページ) を使うと、記憶させた曲だけを録音することができます。

振動の多い道路などで録音すると、自動的に曲番が付くことがあります。

録音
5

曲を消去する

1 曲消去 / 全曲消去

録音した曲を1曲ずつ、または全曲消去することができます。

1 消去したい曲が録音されているMDを入れる

(☞ ここだけで③ 20 ページ)

2 内蔵MD以外のソースに切り換える

(☞ ここだけで① 16 ページ)

3 録音待機状態にする

REC ボタンを2秒以上押す

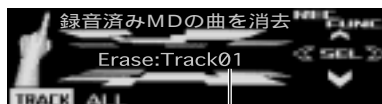
4 消去モードにする

FUNC ボタン、ERASE ボタンの順に押す

5 消去する

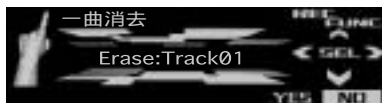
1 曲ずつ消去する

◀または▶ ボタンで消去する曲を選ぶ



曲番号が表示されます。

TRACK ボタンを押す



確認画面が表示されます。

いったん消去すると元に戻せません。もう一度確認してください。

消去をやめるときは、NO ボタンを押すと中止できます。

YES ボタンを押す

選んだ曲が消去されます。

全曲消去する

ALL ボタンを 2 回押す



確認画面が表示されます。

いったん消去すると元に戻せません。もう一度確認してください。

消去をやめるときは、NO ボタンを押すと中止できます。

YES ボタンを押す

MD の内容すべてが消去されます。

メモ

いったん消去すると元に戻せません。消去する前にもう一度確認してください。
曲を消去すると次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

1 曲ずつの消去では、すべての曲を消去してもディスクの録音可能な時間が短くなることがあります。この場合は、全曲消去してすべての内容を消去してください。

MD の内容がすべて消去されると “Blank MD” と表示されます。

“Protected” が表示された場合、ディスクが誤消去防止状態になっています。(録音 56 ページ)

TOC の異常などで曲番が認識できない場合は、消去モードにすると “UTOC Error” と表示されます。このときは、1 曲ずつの消去はできませんが、全曲消去することはできます。

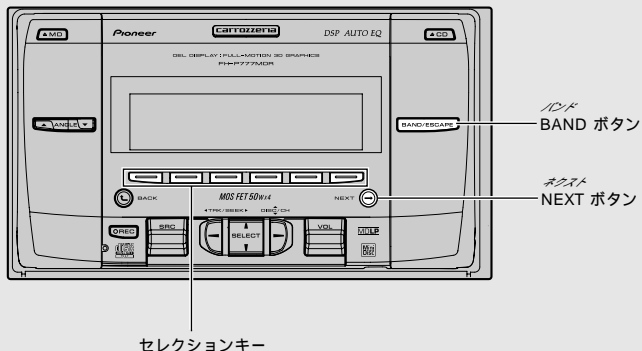
6 消去モードを解除する

BAND ボタンを押す

(約 30 秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

7 録音待機状態を解除する

BAND ボタンを押す



音の調節

1

オーディオ調節のポイント

心地よい音の空間を手軽に演出したり、お好みに合わせてきめ細かく調節することができます。

手軽に心地よい音場を演出する

次の機能は、車種によって異なる音響特性に合わせた音場の演出を手軽に調節することができます。

- イコライザーカーブを選ぶ (EQ)
- 音場の中心で聞く (PUSH)
- 車種に合ったタイムアライメントを選ぶ (T.AL1)
- イコライザーカーブを大まかに調整する (EQ1)

便利な機能

「手軽に心地よい音場を演出する」や「きめ細かくお好みに合わせて調節する」を行ったあと、お好みに合わせてお使いいただくと効果があります。

- 小音量時の音にメリハリをつける (LOUD)
- イメージに合った演奏会場を再現する (SFC)
- 各ソースの音量の違いをそろえる (SLA)
- 音の歪みを補正する (D.ATT)

きめ細かくお好みに合わせて調節する

次の順に設定や調節することで、きめ細かくお好みの音場を創り出すことができます。

- 音場の中心で聞く (PUSH)
- 車種に合ったタイムアライメントを選ぶ (T.AL1)
- タイムアライメントを調節する (T.AL2)
- サブウーファーを使う (SW1, SW2)
- 低い音をスピーカーから出力させないようにする (HPF F, HPF R)
- 前後左右の音量バランスを調節する (F/B)
- オートイコライジングを行う (A.EQ)
- イコライザーカーブを選ぶ (EQ)
- イコライザーカーブを大まかに調整する (EQ1)
- イコライザーカーブを細かく調節する (EQ2)

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードにする

AUDIO ボタンを押す

2 セレクションキーを切り換える

NEXT ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

F/B LOUD SFC EQ1 EQ2

POSI T.AL1 T.AL2 SW1 SW2 HPF F

HPFR SLA A.EQ D.ATT

F/B LOUD SFC EQ1 EQ2 へ戻る

3 操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す
押したボタンのモードに切り換わります。
(各モードの操作は、それぞれのモードの説明を参照してください。)

4 オーディオ調節モードを解除する

BAND ボタンを押す

リモコンの場合

AUDIO ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

F/B → LOUD → SFC → EQ1 → EQ2 →
POSI → T.AL1 → T.AL2 → SW1 → SW2
→ HPF F → HPF R → SLA → A.EQ →
D.ATT → F/Bに戻る

メモ

オーディオ調節モードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、イコライザー13バンド調節モード(EQ2)、タイムアライメント調節モード(T.AL2)を選んでいない場合、自動では解除されません。

“T.AL2”は、リスニングポジションセレクターモードで“FL”または“FR”を選んでいないときだけ表示されます。

“SW1”は、RCA外部出力の設定(☞ 便利な機能 98ページ)を“Subwoofer”にしているときだけ表示されます。

“SW2”は、サブウーファーモードをONにしているときだけ表示されます。

ラジオのFMを聞いているときは、“SLA”は表示されません。

“A.EQ”は、オートイコライザーが設定されたあとに表示されます。



▲▼/◀▶ ボタン
セレクションキー

音の調節

3

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1

音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押す

音量バランス調節モード以外を選んでいる場合は、F/B ボタンを押してください。

2

音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶：右を強めるとき

◀：左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

音の調節

4

小音量時の音に メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1

ラウドネスモードにする

AUDIO ボタン、LOUD ボタンの順に押す

2

ラウドネスをONにする

LOUD ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



イメージに合った演奏会場を再現する

SFC / OCT / BBE

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、Octaverでは、レベルの切り換え、BBEではレベルの調節をすることができます。

SFCについて

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール) の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。STUDIOやDOMEなど4つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

OCT (オクターバー) について

サブウーファー帯域の超低音域を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCTAVER2のほうがOCTAVER1より低音を強調する効果があります。

BBEについて

高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締めりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再生することができます。

1 SFCモードにする

AUDIO ボタン、SFC ボタンの順に押す

2 音場プログラムを選ぶ

選びたい音場プログラムのボタンを押す
同じボタンを押すごとにON/OFFします。

ボタン	音場プログラム
STUDIO	STUDIO
CLUB	CLUB
HALL	CONCERT HALL
DOME	DOME
OCT	OCTAVER 1、2
BBE	BBE

OCTを選ぶ場合

1 OCTを選ぶ

AUDIO ボタン、SFC ボタン、OCT ボタンの順に押す

2 OCTAVERのレベルを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : OCTAVER1を選ぶとき

▼ : OCTAVER2を選ぶとき



BBEを選ぶ場合

1 BBEを選ぶ

AUDIO ボタン、SFC ボタン、BBE ボタンの順に押す

2 BBEのレベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

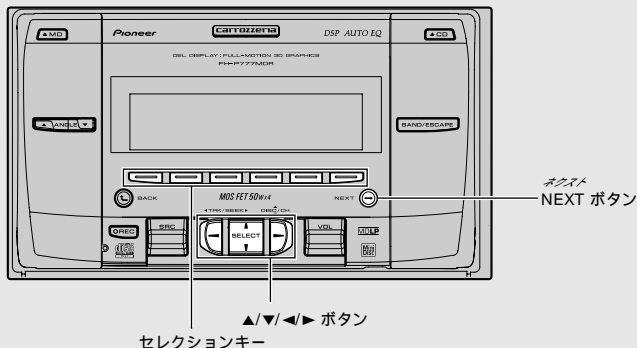
▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

メモ

この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。



音の調節

6

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CUSTOM について

“CUSTOM1”と“CUSTOM2”は、お好みに合わせて調節することができます。(E3 音の調節 ⑦ 72 ページ)

FLAT について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1

イコライザーモードにする

EQ ボタンを押す

2

セレクトキーを切り換える

NEXT ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SUBS PWRFL NATR VOCAL FLAT ESTM1

ESTM2

SUBS PWRFL NATR VOCAL FLAT ESTM1 に戻る

3

イコライザーカーブを選ぶ

選びたいイコライザーカーブのボタンを押す

ボタン	イコライザーカーブ
S.BASS	SUPER BASS
PWRFL	POWERFUL
NATRAL	NATURAL
VOCAL	VOCAL
FLAT	FLAT
CSTM1	CUSTOM1
CSTM2	CUSTOM2

メモ

交通情報 (E3 便利な機能 ⑧ 87 ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

◀または▶ ボタンでイコライザーカーブを選ぶこともできます。

イコライザーモードは、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

イコライザーカーブを大まかに調整する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスをくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタン、EQ1 ボタンの順に押す

2 調整したいイコライザーカーブに切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ご注意

FLATや全ての周波数が“0”に設定されているイコライザーカーブを調整することはできません。

3 イコライザーカーブを調整する

▲または▼ ボタンを押す

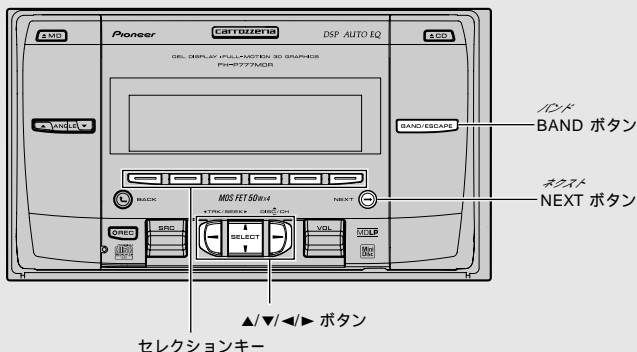
▲ : 効果を強めるとき

▼ : 効果を弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調整できます。

(ただし、記憶されているカーブによっては、調整できる範囲が狭くなることがあります。)



音の調節

8

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。

CUSTOM1 について

“CUSTOM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、およびExternal1とExternal2は、同じ設定になります。)

“CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。

CUSTOM2 について

“CUSTOM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

“CUSTOM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CUSTOM2”として記憶されます。

1 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

(※ 音の調節 ⑥ 70 ページ)

2 イコライザー 13 バンド調節モードにする

AUDIO ボタン、EQ2 ボタンの順に押す

3 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



選んだ周波数が表示されます。

選べる周波数 [Hz]

50、80、125、200、315、500、800、1.25k、2k、3.15k、5k、8k、12.5k

イコライザー調節(つづき)

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

調節したイコライザーカーブは、そのまま保存されます。

4 イコライザー 13 バンド調節モードを解除する

BAND ボタンを押す

リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて



リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

1 リスニングポジションセクターモードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタン、POSITION ボタンの順に押す

2 乗車位置を選ぶ

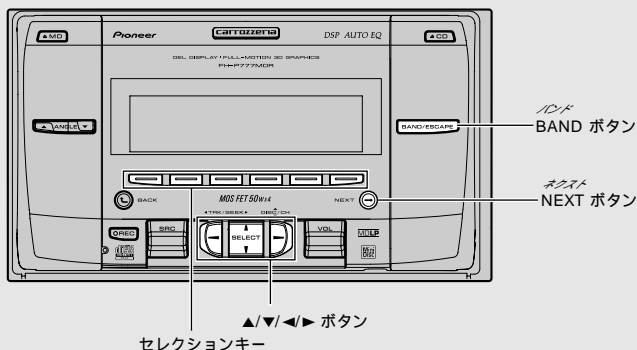
選びたい乗車位置のボタンを押す
同じボタンを押すごとに ON/OFF します。

ボタン	乗車位置
FL	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
FR	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT	同乗者が助手席にいるとき
ALL	同乗者が後部座席にいるとき

メモ

▲または▼、◀、▶ ボタンで乗車位置を選ぶこともできます。

ボタン	乗車位置
◀	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
▶	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
▲	同乗者が助手席にいるとき
▼	同乗者が後部座席にいるとき

音の調節
10

車種に合ったタイムアライメントを選ぶ

車種別タイムアライメント

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中からお車に合ったものを選ぶことで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

車種別タイムアライメントについて

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

車種別タイムアライメントは、車種に合ったタイムアライメントをあらかじめ記憶していますので、車種を選ぶことで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 車種別タイムアライメント設定モードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタン、T.AL1 ボタンの順に押す

2 車種を選ぶ

選びたい車種のボタンを押す

ボタン	車種
CMPCT	Compact (コンパクトカー)
SEDAN	Sedan (セダン)
WAGON	Wagon (ワゴン)
M. VAN	Mini van (ミニバン)
CUSTOM	Custom



選んだ車種が表示されます。

メモ

“Custom” には、お好みに合わせて調節したタイムアライメントが記憶されます。

タイムアライメントを調節する

タイムアライメント調節

車種別タイムアライメントとリスニングポジションを設定することで、自動的にタイムアライメントは設定されますが、タイムアライメント調節モードではさらに厳密に調節することができます。

タイムアライメント調節について

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

1 タイムアライメント調節モードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタン、T.AL2 ボタンの順に押す

2 距離の単位を選ぶ

使いたい単位のボタンを押す

ボタン	車種
cm	cm (センチメートル)
inch	inch (インチ)

3 各スピーカーの距離を調節する

調節するスピーカーを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



Front Left、Front Right、Rear Right、Rear Left、Sub. W (Subwoofer) の中から選ぶことができます。

距離を調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 距離を遠くするとき

▼ : 距離を近くするとき



0.0 cm から 400.0 cm の範囲で調節できます。(インチを選んでいる場合は、0 inch ~ 160 inch の範囲で調節できます。)

4 タイムアライメント調節モードを解除する

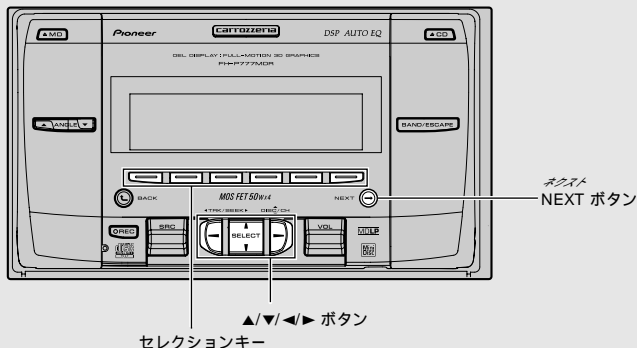
BAND ボタンを押す

メモ

リスニングポジションセレクターモード (E58 音の調節⑨ 73 ページ) で“FL”か“FR”を選んでいないと、タイムアライメント調節モードには切り換わりません。

RCA 外部出力の設定 (E58 便利な機能⑩ 98 ページ) を“REAR”にしているときは、“Sub. W”には切り換わりません。

サブウーファーモード (E58 音の調節⑫ 76 ページ) を OFF にしているときは、“Sub. W”には、切り換わりません。

音の調節
12

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定でONになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どろろが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125(単位: Hz)から選んだ周波数より低い周波数の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタン、SW1 ボタンの順に押す

2 サブウーファーをONにする

SW1 ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



3 位相を切り換える

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : NORMAL (正相)
- ◀ : REVERSE (逆相)



サブウーファー(つづき)

音の調節 13

低い音を出力しないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されないようになります。フロントスピーカー、リアスピーカーのそれぞれでお好みの周波数を設定することができます。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域(低域)をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125(単位: Hz)から選んだ周波数より高い音域がフロントまたはリアスピーカーから出力されます。

フロントスピーカーの調整をするとき

1 フロントハイパスフィルター調整モードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタン、HPF F ボタンの順に押す

2 フロントハイパスフィルターをONにする

HPF F ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



3 フロントハイパスフィルターのカットオフ周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125(Hz)の中から選ぶことができます。

4 サブウーファー調節モードにする

SW2 ボタンを押す

5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125(Hz)の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

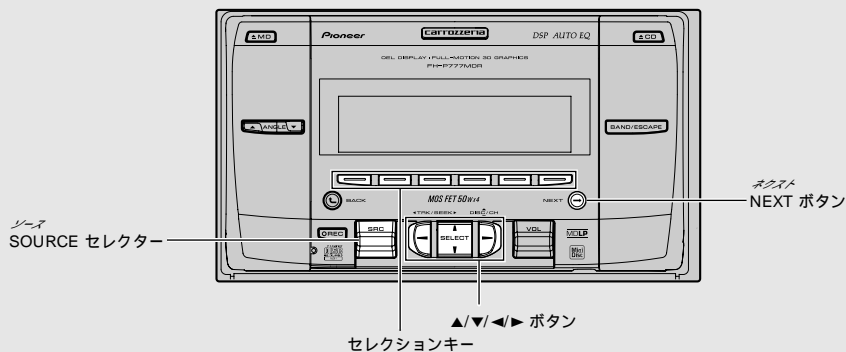


レベルは -24 ~ +6 の範囲で調節できます。

メモ

RCA外部出力の設定(※ 便利な機能!798ページ)を“REAR”にしているときは、サブウーファーモードには切り換わりません。

サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。



音の調節 13

低い音を出力しないようにする (つづき)

ハイパスフィルター (HPF) (つづき)

リアスピーカーの調整をするとき

1 リアハイパスフィルター 調整モードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタンを2回、
HPF R ボタンの順に押す

2 リアハイパスフィルター をONにする

HPF R ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



3 リアハイパスフィルターの カットオフ周波数を選ぶ

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125 (Hz) の中から選
ぶことができます。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCEセレクターを上下に押す
(☞ ここだけで④ 22 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCEセレクターを上下に押す
(☞ ここだけで① 16 ページ)

3 SLAモードにする

AUDIOボタン、NEXTボタンを2回、SLAボタンの順に押す

4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき



レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、External1、2 (エクスターナルユニット) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (☞ 便利な機能② 87 ページ) は同じ設定になります。

オートイコライザーをON/OFFする

オートイコライザー切り換え

オートイコライジング (☞ 音の調節⑩ 84 ページ) で作成したオートイコライザーカーブをON/OFFすることができます。

1 オートイコライザーモードにする

AUDIOボタン、NEXTボタンを2回、A.EQボタンの順に押す

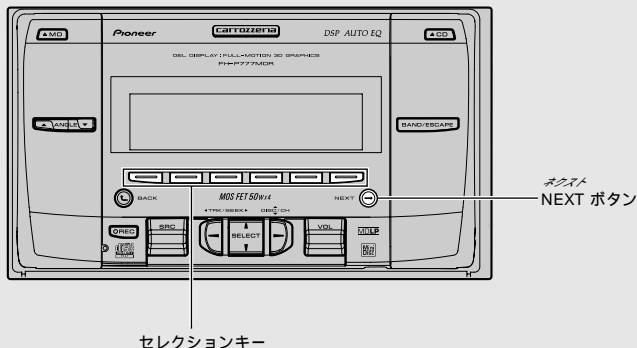
2 オートイコライザーカーブをON/OFFする

A.EQボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



メモ

オートイコライジング (☞ 音の調節⑩ 84 ページ) を行っていないときは、オートイコライザーモードには切り換わりません。

音の調節
16

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの調整 (音の調節 7⑧ 71、72 ページ) による音の歪みをなくすることができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの調整 (音の調節 7⑧ 71、72 ページ) でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を LOW に切り換えてください。

1 デジタルアッテネーター設定モードにする

AUDIO ボタン、NEXT ボタンを 2 回、D. ATT ボタンの順に押す

2 設定を選ぶ

選みたい設定のボタンを押す

ボタン	設定
LOW	LOW (HIGH で音が歪むとき)
HIGH	HIGH (通常の設定)



オートイコライジングを行う前に

オートイコライジングを行う前に必ずお読みください。



警告

走行中にオートイコライジングを行わない



禁止

走行中にオートイコライジングを行わないでください。オートイコライジング機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

スピーカーの破損防止について

次の状態でオートイコライジングを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートイコライジングを行う前に、よく確認してください。

スピーカーの接続を誤っている場合

(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)

スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

オートイコライジング機能について

車室内空間は、その狭さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機のオートイコライジング機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、オートイコライジングにより、乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)


オートイコライジングを行う前にお読みください


オートイコライジングは、なるべく静かな所で、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからオートイコライジングを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。

オートイコライジングは、必ず別売の専用マイク（CD-MC50）を使用して行ってください。別売の専用マイク（CD-MC50）以外のマイクでは、オートイコライジングが実行できなかつたり、車室内の音響特性が正しく測定できません。


フロントスピーカーとリアスピーカーが、どちらも接続されていない場合は、オートイコライジングが実行できません。（どちらかが接続されていれば、オートイコライジングが実行できます。）

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合に、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていたり、オートイコライジングが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。


RCA 外部出力設定（ 便利な機能⑦ 98ページ）を“Subwoofer”にし、サブウーファーを接続している場合、オートイコライジングを行うと、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。（サブウーファー出力をOFFにしても、自動的にONになり調節されます。）

オートイコライジングを行うと前後左右の音量バランス調節（ 音の調節④ 68ページ）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

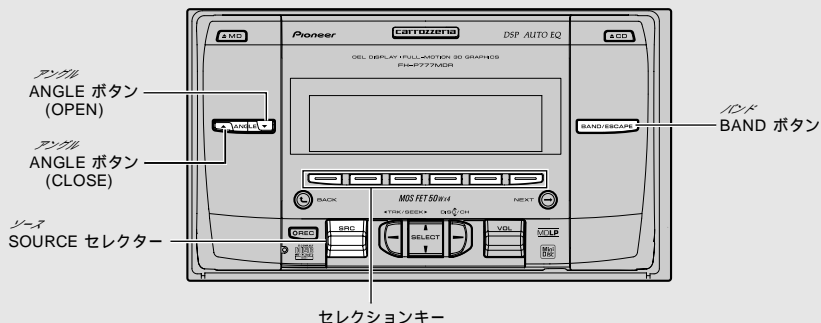
オートイコライジングを行うと、イコライザーカーブは、FLATに設定されます。

オートイコライジングを行うと、リスニングポジションセレクター（ 音の調節④ 73ページ）は、FRONT SEAT RIGHTに設定されます。（ただし、FRONT SEAT LEFTに設定していたときだけは、FRONT SEAT LEFTのままになります。）

オートイコライジングの調節内容について

一度オートイコライジングを行った後に、RCA 外部出力設定（ 便利な機能⑦ 98ページ）を切り換えると、オートイコライジングの調節内容が消去されます。再度、オートイコライジングを行ってください。

一度オートイコライジングを行った後に、再度オートイコライジングを行った場合は、前のオートイコライジングの調節内容は消去されます。

音の調節
18

オートイコライジングを行う

オートイコライジングの調節

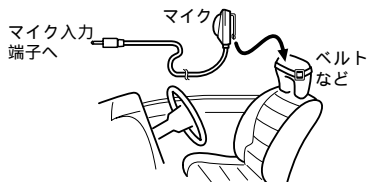
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

1 車の環境を整える

静かな所に車を停車させる
ドア、窓、サンルーフなどを閉める
車のエンジンを停止させる

2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に別売のマイク (CD-MC50) を前向きに固定する



ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

ご注意

車のエアコンやヒーターがON になっている場合は、OFF にしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートイコライジングが実行できないことがあります。

4 本機の電源を入れる

SOURCE セレクターを上下に押す

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクターモードにして、乗車位置をマイクをセットした座席に設定する

(音の調節 ⑨ 73 ページ)

メモ

乗車位置を FRONT SEAT RIGHT または FRONT SEAT LEFT 以外に設定したときは、オートイコライジングを始めると、強制的に FRONT SEAT RIGHT に再設定されます。

6 本機の電源を切る

SOURCE セレクターを上下に押す

3 車のエンジンスイッチを ACC または ON にする

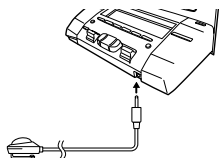
7 オートコライジングモードにする

➡2 ボタンを
2 秒以上押す
フロントパネルが
開きます。



8 マイクを本機に接続する

別売のマイク (CD-MC50) をマイク入
力端子に接続する



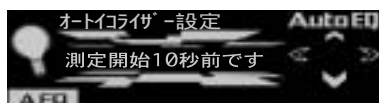
メモ

フロントパネルがシフトレバーに当たったり、シフトレバーがマイクを接続する妨げになる場合は、BAND ボタンを押して、オートコライジングモードをいったん解除します。
ANGLE ボタンを押して、マイクを接続できる角度に調節した後に、マイクをマイク入力端子に接続します。そして、➡2 ボタンを2秒以上押して、手順9に進んでください。

9 オートコライジングを始める

A. EQ ボタンを押す

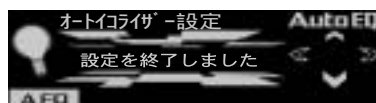
もう一度ボタンを押すと途中解除します。



10 車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉める計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、オートコライジング (音響特性の測定および補正) が始まります。

11 オートコライジングが自動的に終了する



オートコライジング操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、BAND ボタンを押して電源を切り、ANGLE (CLOSE) ボタンを押してフロントパネルを元の位置に戻してください。

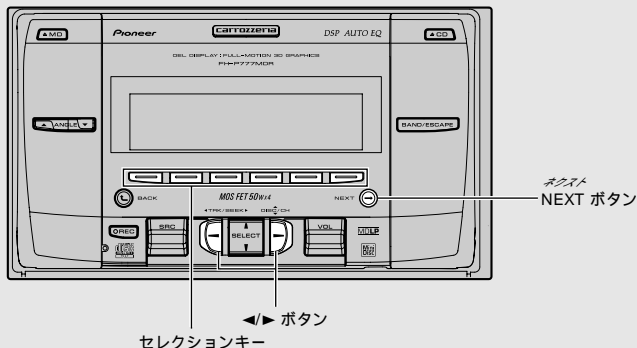


注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

メモ

オートコライジングを途中でやめなくなったときは、BAND ボタンを押してください。強制的に解除して、電源 OFF になります。
マイクをセットする位置により、オートコライジングの調節内容が変わります。
お好みにより、助手席にセットすることもできます。マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



便利な機能

1

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。内蔵CD・マルチCD・内蔵MDでポーズ、マルチMDでリピート、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。

内蔵CD、内蔵MD、マルチCDのとき

1 再生を一時停止する

リモコンのDFボタンを押す
(☞ はじめに① 9ページ)
ボタンを押すごとに機能がON/OFFします。
(☞ CD/MD⑥ 29ページ、マルチCD⑨ 44ページ)

マルチMDのとき

1 リピート再生を切り換える

リモコンのDFボタンを押す
(☞ はじめに① 9ページ)
ボタンを押すごとにリピート再生が切り換わります。
(☞ マルチMDの取扱説明書)

ラジオのとき

1 BSM を始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す
(☞ はじめに① 9ページ)
BSMが始まります。(☞ ラジオ④ 36ページ)

テレビのとき

1 BSSM を始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す
(☞ はじめに① 9ページ)
BSSMが始まります。
(☞ テレビの取扱説明書)

メモ

BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

メモ

BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 “TI” を表示する

NEXT ボタンを押す

“TI” が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。

TI 1629 CLK [FM] 1

2 交通情報を受信する

TI ボタンを押す

交通情報を受信します。

3 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHz にするとき

◀ : 1,620 kHz にするとき



受信周波数

4 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、どのソースからでも操作できます。交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

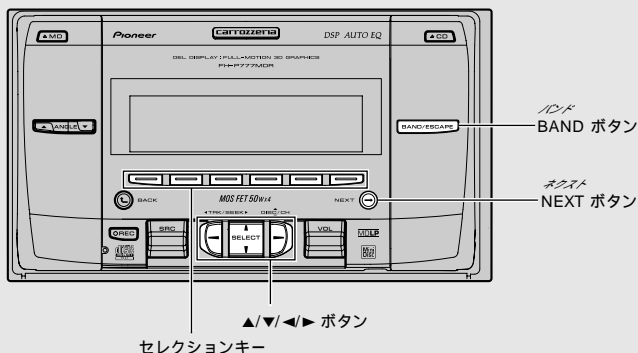
ATT ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに反転表示します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。



便利な機能 4 時計・カレンダーを表示・調節する

時計・カレンダー機能

本機の電源がONのときに時計を表示・調節することができます。

時計を表示する

1 “CLK” を表示する

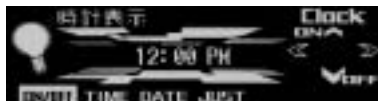
NEXT ボタンを押す

“CLK” が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。

TI PAUSE CLK OFF

2 時計表示をONにする

CLK ボタン、ON/OFF ボタンの順に押す
ON/OFF ボタンを押すごとにON/OFFします。



時計表示をONにすると同時に、“TIME” や
“DATE”、“JUST” が表示されます。

3 時計・カレンダーモードを解除する

BAND ボタンを押す



時計表示

オフカレンダー表示

時計を表示した状態で電源をOFFにしてから、6のボタンを押してデモモードをOFFにすると、時計表示とともにカレンダーを表示することができます。

メモ

時計モードは、約60秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

日付を設定する

1 “CLK” を表示する

NEXT ボタンを押す

“CLK” が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。

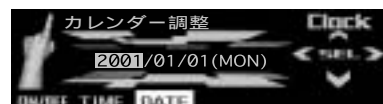


2 時計表示を ON にする

CLK ボタン、ON/OFF ボタンの順に押す
ON/OFF ボタンを押すごとにON/OFF します。

3 カレンダー調整モードにする

DATE ボタンを押す



4 日付の設定をする

年または月、日を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

押すごとに年または月、日が切り換わります。

日付を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲：日付を進めるとき

▼：日付を戻すとき

メモ

時計を表示した状態で電源を OFF にしてから、
フィーチャーデモを OFF にすると、カレンダーを
表示することができます。

年は2001年から2050年までの範囲で設定できます。

時計を調整したあとに日付の調整を行うと、設定した時間がずれることがあります。時計の設定を行う前に、日付の設定を行ってください。

時計を設定する

1 “CLK” を表示する

NEXT ボタンを押す

“CLK” が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。



2 時計表示を ON にする

CLK ボタン、ON/OFF ボタンの順に押す
ON/OFF ボタンを押すごとにON/OFF します。

3 時計調整モードにする

TIME ボタンを押す



4 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

押すごとに時または分が切り換わります。

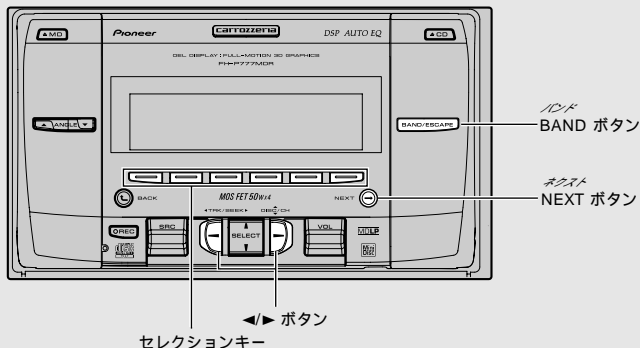
時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



便利な機能
4 時計・カレンダーを表示・調節する (つづき)
時計・カレンダー機能 (つづき)

時刻を時報に合わせる

1 “CLK” を表示する

NEXT ボタンを押す

“CLK” が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。

TI 00:00 CLK 00:00

2 時計表示を ON にする

CLK ボタン、ON/OFF ボタンの順に押す

3 時刻を時報に合わせる

JUST ボタンを押す

「分」が“00”になります。

例) 10 : 00 ~ 10 : 29 → 10 : 00
10 : 30 ~ 10 : 59 → 11 : 00

メモ

カレンダー調整モードを選んでいる場合、“JUST” は表示されません。

便利な機能
5 カスタムメニューの切り換えかた

表示画面の選択やディマーなどの設定をするときはカスタムメニューを切り換えて操作します。

1 “C. MENU” を表示する

NEXT ボタンを押す

“C. MENU” が表示されるまで、NEXT ボタンを押してください。

TI 00:00 CLK C.MENU

2 カスタムメニューにする

C. MENU ボタンを押す

3 操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す

FORM 1 FORM 2 PTRN

押したボタンのモードに切り換わります。(各モードの操作は、それぞれのモードの説明を参照してください。)

4 カスタムメニューを解除する

BAND ボタンを押す

メモ

カスタムメニューは、約30秒間、何も操作しないと自動的に解除されます。

“PTRN” は、表示画面の“FORM 2”専用の機能です。“FORM 1”を選択しているときは表示されません。(E38 便利な機能⑧)

表示画面を選ぶ

表示画面選択

本機の基本画面には、FORM 1とFORM 2の2つの表示方法があり、お好みに合わせて選ぶことができます。

1 表示画面選択モードにする

C. MENU ボタン、D. FORM ボタンの順に押す

2 表示を選ぶ

お好みの表示のボタンを押す

ボタン	表示
FORM1	FORM 1
FORM2	FORM 2

ディスプレイの明るさを調節する

ブライト

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1 輝度調整モードにする

C. MENU ボタン、BRGHT ボタンの順に押す

2 明るさを調節する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 明るくしたいとき

◀ : 暗くしたいとき



0 ~ 31の範囲で調節できます。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

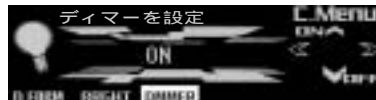
1 輝度調整モードにする

C. MENU ボタン、DMMER ボタンの順に押す

2 ディマーの設定をONにする

DMMER ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



メモ

車のライトをONにしてディマーが働いているときでも、輝度調整モード(便利な機能7)でディスプレイの明るさを“0”に調節しているときは、ディスプレイの明るさを変えることはできません。

背景のパターンを選ぶ

壁紙選択

表示画面に“FORM 2”を選んでいる場合、背景のパターンを選ぶことができます。

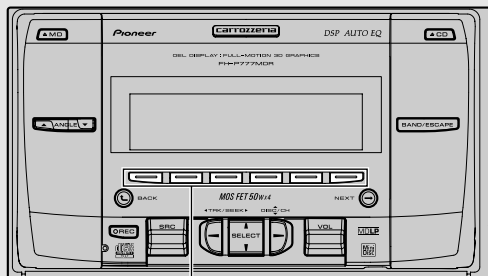
1 輝度調整モードにする

C. MENU ボタン、PTRN ボタンの順に押す

2 壁紙を選ぶ

A、B、Cボタンの中からお好みの壁紙のボタンを押す





セレクションキー

便利な機能 10 エンタテインメントを表示させる

エンタテインメント表示

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメントメニューの切り換えかた

1 エンタテインメントメニューにする

ENT ボタンを押す

2 操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す

MOVIE 5/A BG OFF

押したボタンのモードに切り換わります。(各モードの操作は、それぞれのモードの説明を参照してください。)

3 エンタテインメントメニューを解除する

BAND ボタンを押す

メモ

エンタテインメントメニューは、約30秒間、何も操作しないと自動的に解除されます。
“BG”は、表示画面の“FORM 1”専用の機能です。“FORM 2”を選択しているときは表示されません。(☞ 便利な機能⑥ 91ページ)

ムービースクリーンを表示する

1 ムービースクリーン選択モードにする

ENT ボタン、MOVIE ボタンの順に押す

2 ムービースクリーンを選ぶ

お好みのムービーのボタンを押す

押したボタンのムービースクリーンが表示されます。

ボタン	表示
MOVIE1	フェニックス
MOVIE2	オルカ
ALL	MOVIE1とMOVIE2を順番に表示

レベルインジケータを表示する

1 レベルインジケータ選択モードにする

ENT ボタン、S/A ボタンの順に押す

2 レベルインジケータを選ぶ

S/A1 または S/A2 のうち、お好みのレベルインジケータのボタンを押す
 押したボタンのレベルインジケータが表示されます。

バックグラウンドビジュアルを表示する

1 バックグラウンドビジュアル選択モードにする

ENT ボタン、BG ボタン、BGV ボタンの順に押す

2 バックグラウンドビジュアルを選ぶ

BGV1 ~ BGV5 の中から、お好みのバックグラウンドビジュアルのボタンを押す
 押したボタンのバックグラウンドビジュアルが表示されます。

バックグラウンドスタイルピクチャーを表示する

1 バックグラウンドスタイルピクチャー選択モードにする

ENT ボタン、BG ボタン、BGP ボタンの順に押す

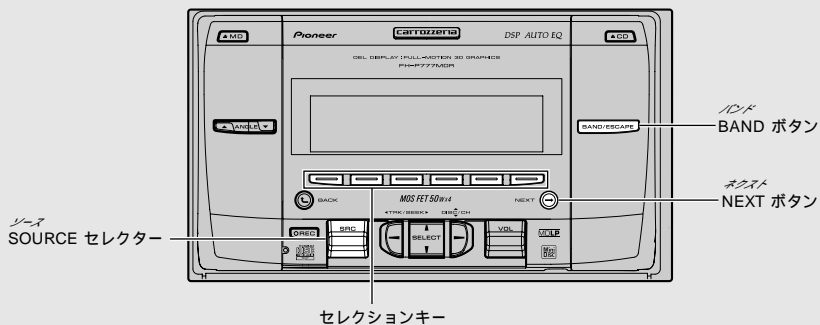
2 バックグラウンドスタイルピクチャーを選ぶ

BGP1 ~ BGP3 の中から、お好みのバックグラウンドスタイルピクチャーのボタンを押す
 押したボタンのバックグラウンドスタイルピクチャーが表示されます。

エンタテインメント表示を解除する

1 エンタテインメント表示を解除する

ENT ボタン、OFF ボタンの順に押す
 現在表示しているエンタテインメント表示を OFF にします。



便利な機能 11 初期設定モードの切り換えかた

外部機器やRCA外部出力の設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

SOURCE セレクターを上下に押す
(ここだけで① 16 ページ)

2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、 1 ボタンを
2秒以上押す

3 セレクションキーを 切り換える

NEXT ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

REV F.DEMO AUX MUTE.S

PREOUT

REV F.DEMO AUX MUTE.S に戻る

4 操作したいモードを選ぶ

操作したい機能のボタンを押す
押したボタンのモードに切り換わります。(各
モードの操作は、それぞれのモードの説明を
参照してください。)

5 初期設定モードを解除する

BAND ボタンを押す
初期設定モードが解除され、電源がOFFに
なります。

リモコンの場合

電源がOFFのときに、FUNCTION ボ
タンを2秒以上押す
初期設定モードになります。

FUNCTION ボタンを押す
FUNCTION ボタンを押すごとに次のように
切り換わります。

REV → F.DEMO → AUX → MUTE.S →
PREOUT → REV に戻る

リバースモードをON/OFFする

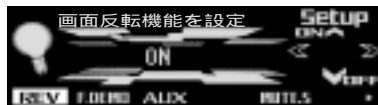
リバースモードのON/OFFをすることができます。

1 画面反転機能設定モードにする

電源がOFFのときに、**⇄**1 ボタンを2秒以上押してから、REV ボタンを押す

2 画面反転機能設定をONにする

REV ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



3 初期設定モードを解除する

BAND ボタンを押す
初期設定モードが解除され、電源がOFFになります。

メモ

リバースモードは、本機がOFFのときに、5 ボタンを押すことでもON/OFFすることができます。

フィーチャーデモをON/OFFする

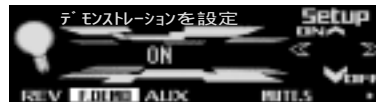
フィーチャーデモのON/OFFをすることができます。

1 デモンストレーション設定モードにする

電源がOFFのときに、**⇄**1 ボタンを2秒以上押してから、F.DEMO ボタンを押す

2 デモンストレーション設定をONにする

F.DEMO ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。

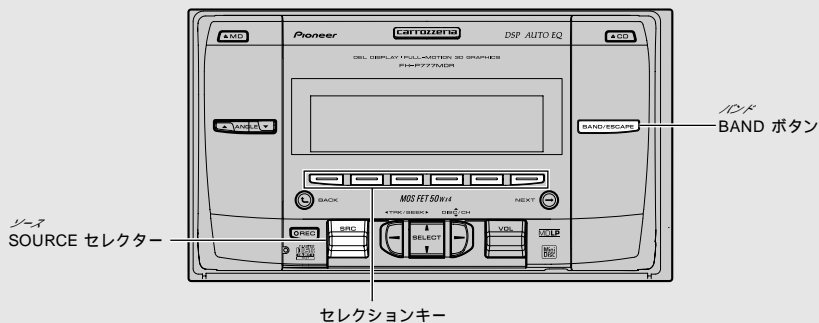


3 初期設定モードを解除する

BAND ボタンを押す
初期設定モードが解除され、電源がOFFになります。

メモ

フィーチャーデモは、本機がOFFのときに、6 ボタンを押すことでもON/OFFすることができます。



便利な機能 14 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

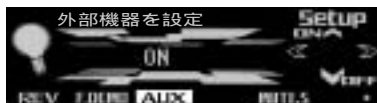
1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときに、**1** ボタンを2秒以上押してから、AUXボタンを押す

2 AUX (外部機器) の設定をONにする

AUXボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



3 初期設定モードを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定モードが解除され、電源がOFFになります。

4 ソースをAUXにする

SOURCE セレクターを上下に押す
(**16** ここだけで**16** ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCE セレクターを上下に押す
(☞ ここだけで① 16 ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNC ボタン、TTLin ボタンの順に押す

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる (☞ マルチ CD ⑩ 45 ページ)

CD タイトル入力の手順 3 ~ 6 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “ DAT ” を入力した場合



“ AUX ” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

メモ

TTLin ボタンを押さなくても、文字を入力することはできますが、アルファベットの小文字やカナ文字などを入力することはできません。

ミュート / アッテネート

ネットを切り換える

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートするか、アッテネートするかを選ぶことができます。

ミュートアッテネート機能について

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9900」など) と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているあいだだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- TEL mute : 音量 “ 0 ”
- 10 dB ATT : もとの音量の 1/3
- 20 dB ATT : もとの音量の 1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

1 ミュート設定モードにする

電源が OFF のときに、**1** ボタンを 2 秒以上押してから、MUTE.S ボタンを押す

2 設定を選ぶ

MUTE.S ボタンを押す

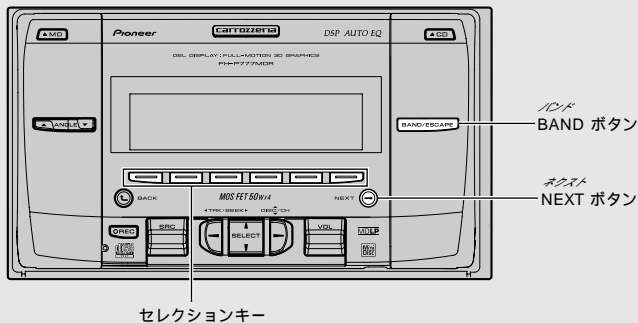


ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
TEL mute → 10 dB ATT → 20 dB ATT
→ TEL mute に戻る

3 初期設定モードを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定モードが解除され、電源が OFF になります。



便利な機能 17 RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のリア出力またはサブウーファー出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

1 RCA 外部出力モードにする

電源がOFFのときに、**1** ボタンを2秒以上押してから、NEXT ボタン、PREOUT ボタンの順に押す

3 初期設定モードを解除する

BAND ボタンを押す
初期設定モードが解除され、電源がOFFになります。

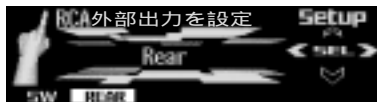
2 接続するスピーカーを選ぶ

SW ボタンまたはREAR ボタンを押す

ボタン	スピーカー
SW	サブウーファー
REAR	リアスピーカー

メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (E38 音の調節 76 ページ) はできません。



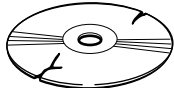
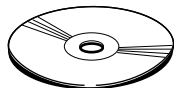
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

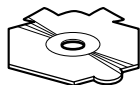
下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。



ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/CD-RWディスクは、正常に再生できない場合があります。

音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/CD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。

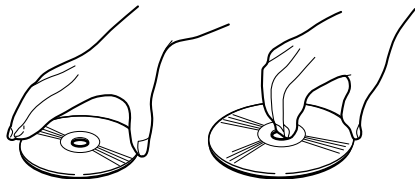
本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



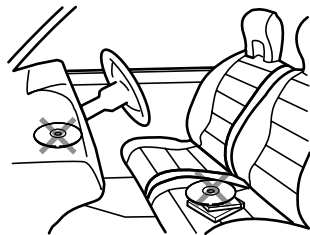
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



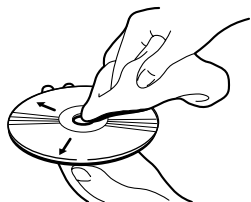
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



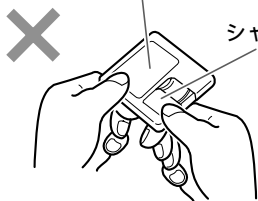
音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあげるとこわれることがあります。

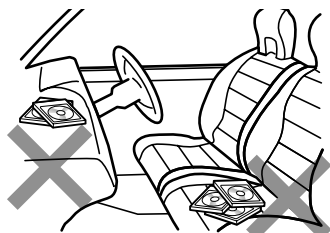
カートリッジ

シャッター



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



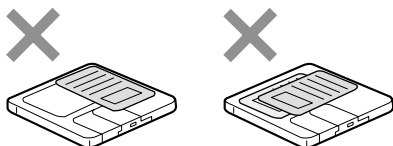
寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

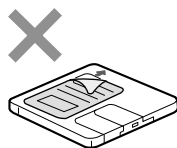
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(☞ はじめに⑩ 15
ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス(☞ その他⑥ 103ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤ 19、21、23、25ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 便利な機能⑧ 87ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節⑨ 68ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節⑨ 68ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節⑨ 68ページ)
ディスプレイが反転表示 する。	リバースモードがONに なっている。	リバースモードを解除してください。 (☞ はじめに④ 15ページ、便利な機能⑫ 95 ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがあ る。	他のCDと交換してください。良くな ればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 101 ページ)
	CDにくもりや水滴がつい ている。	CDの曇りや水滴をふき取ってくだ さい。(☞ その他① 101 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセッ トしている。	CDのタイトル面を上にしてセットし てください。(☞ ここだけで② 18 ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識して いない。	フロントパネルを開けた状態で、CD EJECT ボタンを2秒以上押し、ディ スクを取り出すことができます。 もう一度入れ直してください。

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴がついて いる。	
	MDが正しい方向に挿入さ れていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入し てください。(☞ ここだけで③ 20 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジ ジー、ザーザー”という雑 音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 23 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 23 ページ)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少な くなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 23 ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 101ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-50」「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

オートイコライジング機能のエラー表示

オートイコライジング機能によって、車室内の音響特性を正常に測定できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。内容を確認して、もう一度操作をやりなおしてください。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「マイクを確認ください」	マイクが接続されていない。	別売の専用マイクをきちんと差し込んでください。(☞ 音の調節⑨ 84ページ)
「スピーカーを確認ください」	スピーカーの計測音がマイクでひろえない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。
		別売の専用マイクを正しくセットしてください。 なるべく静かな所に車を停車させ、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
「測定エラーです」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	別売の専用マイクを正しくセットしてください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-20」 「ERROR-21」	振動などが原因で曲の情報を 読み取れなかったとき。 MDに異常(損傷している、 TOCが入っていないなど)が あるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直して ください。それでも同じメッセー ジが表示される場合は、他のMDと 交換してください。
「ERROR-22」 「ERROR-24」	MDに異常(損傷している、 TOCが入っていないなど)が あるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してくだ さい。
「ERROR-01」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-17」 「ERROR-30」「ERROR-A0」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、MD再生を一 度やめて、もう一度MD再生にして ください。
「ERROR-A1」 「ERROR-A4」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタ ンを押して (☞ はじめに⑨ 15 ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生し ないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (☞ はじめに⑨ 15 ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを 挿入したとき。	録音するか、他のMDと交換してく ださい。

メモ



マルチMD再生中に、上記以外のエラーメッセー
ジが表示されたときは、マルチMDの取扱説明書
をご覧ください。

録音時のエラー表示


録音が正常にできないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「UTOCH WRITE ERROR」	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく書き込めない。	もう一度MDを再生してから、MDを取り出してみる。
「Disc full」	MDに録音できる空きがないとき。	全曲消去し、録音をやり直すか、他の録音用MDと交換してください。
「Track full」	254曲をこえて録音しようとした(1枚のMDには254曲までしか録音できません)。	全曲消去し、録音をやり直すか、他の録音用MDと交換してください。
「Can't copy」	CD-Rなどコピー禁止のものから録音しようとしたとき。	コピー可能なもの(一般のCDなど)に交換してください。
「NO SIGNAL」	MDにデジタル入力信号を入力できないとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、リセットボタンを押してください。(☞ はじめに ⑨15 ページ)
「Name full」	ディスク名、曲名を入力する空きがないとき。	ディスク名、曲名を短くしてください。
「CD-ROM」	CD-ROMから録音しようとしたとき。	音楽CDに交換してください。
「Retry」	CDの音飛びがおきたとき。	CDの汚れ、曇り、水滴をふき取ってください。(☞ その他 ⑩101 ページ)
「DEFECT」	CDの音飛びが同じところで3回おきたとき。	CDを交換してください。
「MEMORY OVER」	振動などでMDに書き込みができないとき。	もう一度録音をやり直してください。
「Blank MD」	MDに何も記録されていないとき。	再生するときは、録音されたMDに交換してください。

録音時のエラー表示 (つづき)

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「Time short」	MDのディスク残り時間が、録音しようとした曲やディスクより短いとき。	他の録音用MDと交換してください。
「Track short」	MDの録音できる残り曲数が、録音しようとした曲数より少ないとき。	他の録音用MDと交換してください。
「Protected」	誤消去防止状態のとき。	誤消去防止つまみを閉じてください。 ( 録音 ① 56 ページ)
「Can't REC」	再生専用ディスクに録音しようとしたとき。	他の録音用MDと交換してください。
「ERROR- 」	MDのエラーのとき。	MDのエラー表示を参照してください。 ( その他 ② 107 ページ)
「TOC ERR」	CDのTOCを読み込めないとき。	CDを交換してください。
「TEMP」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「HEAT」	マルチCD/MDの内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

内蔵CDから録音中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、CDのエラー表示 ( その他 ② 106 ページ) をご覧ください。

マルチCDおよびマルチMDから録音中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDおよびマルチMDの取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら (つづき)

MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法によって、次のような症状がでることがあります。これらは、システム上の制約によるもので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間または最大曲数(254曲)になっていないのに“Track full”が表示される。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したりすると、曲数が最大(254曲)になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので録音できなくなります。(このようなMDは全曲消去すれば最初から使用できます。)
MDの最大録音時間になっていないのに“Disc full”が表示される。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。したがって、1曲ずつの消去ですべての曲を消去してもディスクの録音可能な時間が短くなる場合があります。この場合は、全曲消去してすべての内容を消去してください。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
録音した曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがある。	録音、消去を繰り返し行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % dist)
 負荷
 インピーダンス : 4
 (4 ~ 8 使用可能)
 最大出力レベル : 2.0 V
 出力
 インピーダンス : 1 k
 ラウドネス
 コントラ : 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム : - 30 dB)

イコライザー

(13 バンド
 グラフィック
 イコライザー) : 周波数 : 50 Hz、80 Hz、
 125 Hz、200 Hz、
 315 Hz、500 Hz、
 800 Hz、1.25 kHz、
 2 kHz、3.15 kHz、
 5 kHz、8 kHz、
 12.5 kHz
 調整幅 : ± 12 dB

ネットワーク

ハイパス
 フィルター
 (フロント/リア
 独立) : 周波数 : 50 Hz/63 Hz/
 80 Hz/100Hz/
 125 Hz
 スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力 : 周波数 : 50 Hz/63 Hz/
 80 Hz/100Hz/
 125Hz
 スロープ : - 18 dB/oct.
 調整幅 : - 24 ~ + 6dB
 位相 : NORMAL/REVERSE

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム
 使用ディスク : コンパクトディスク
 信号
 フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16 ビット直線
 周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
 S/N : 94 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)
 ダイナミック
 レンジ : 92 dB (1 kHz)
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
 オーディオシステム
 使用ディスク : ミニディスク
 信号
 フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16 ビット直線
 周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
 S/N : 90 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)
 ダイナミック
 レンジ : 90 dB (1 kHz)
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μ V/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
160 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 95 (H) \times
16 (D) mm
質量 : 2.9 kg (コードユニット含まず)

付属品

リモコン : 1
単4形
乾電池 (R03) : 2
コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

< KICFF/01D00001 > < CRA3174-A >